

# SCOUTING

No.603 スカウティング

2003 / 8



**第9回 日本アダーナリー開催**

**特集：地域の中のスカウティング**

Club Scout **ROPE**

9NA

# あいことばは “We Can!”

ぼくたちも大会に参加しています。さいごまでがんばります。



## 第9回 日本アグーナリー

会 期：2003年7月31日(木)～8月4日(月)  
会 場：石川県珠洲市「りふれっしゅ村 鉢ヶ峰」  
主 催：(財) ボーイスカウト日本連盟  
事業補助：文部科学省  
後 援：厚生労働省・防衛庁  
石川県・石川県教育委員会・珠洲市・珠洲市教育委員会

**第9回日本アグーナリー (9NA)**  
2003年7月31日(木)～8月4日(月)  
石川県珠洲市「りふれっしゅ村 鈴ヶ崎」  
「広がる夢 友情の輪」  
～あいことばは "We can"～

### AGOONOREE アグーナリーとは…

ギリシャ語の「AGOON」(「集会」「競技会」の意)からきた言葉で、ボーイスカウト用語としては、1か国あるいは数か国の障害スカウトが集まって開く行事を表します。単に「AGOON」とする場合もありますが、『ジャンボリー (JAMBOREE)』や『キャンボリー (CAMPOREE)』のように、『O-REE (大きな大会)』をつけて『アグーナリー (AGOON-OREE)』と呼ぶようになりました。



## みんなの力で9NAを成功させよう SCOUTING FOR ALL すべての青少年にひらかれる運動

日本アグーナリーは、障害のあるスカウトが相集い、スカウト仲間とのキャンプ生活やプログラムを通して、相互のふれ合いと共通体験の中から、自信と勇気に満ちた生活態度を自ら獲得するように励ますとともに、これらの青少年が進んで明るい希望を持って、積極的に社会生活に溶けこめるようにすることを目的とする大会です。

会場周辺の自然景観や文化的資源を背景に、「石川県、能登半島そして珠洲ならではのプログラム」を念頭に置き、海・山等豊かな自然のもとで展開されるプログラムを基本とします。また、様々な立場・状況のスカウト・指導者が集うアグーナリーという特長を活かして、交流・理解を促すよう構成されます。

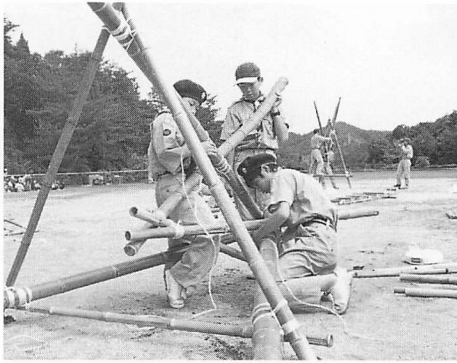
1907年に始まったスカウト運動は、その直後から障害者と積極的に関わってきました。この運動が始まった20世紀初めには、障害者は一般社会から隔離され、人としての基本的な権利も持てないような状況にありました。そんな中、スカウト運動は、その奉仕と助け合いの方針にしたがって、病院や施設でのプログラムを取り入れました。

1911年、アメリカにおいて盲児を対象とするスカウト隊が発足、1927年には英国で組織的に障害児スカウティング部門が置かれました。その後運動の広まりとともに、多くの加盟国において障害児スカウティングの活動が進められました。それはそれぞれの国が取り組む障害児の福祉事業に応える形で発展し、1961年には46、1970年には78もの加盟国がこの活動を実施していました。

世界組織としては、1954年にボーイスカウト国際委員会(後の世界スカウト委員会)に「国際障害スカウト活動諮問委員会」(International Advisory Committee on Scouting with the Handicapped)が置かれました。障害児スカウティングの活動は『Extension Scouting』とも呼ばれ、1965年には、世界事務局から指導者のための手引書『These our Brothers』が発行されました。

『Scouting with the Handicapped』や『Extension Scouting』という表現は、特に障害児のスカウティングを一般のスカウティングと区別することになるため、現在では『Scouting for all』という表現を用いています。そのことにより、障害のある人々ばかりでなく、恵まれない環境での生活を余儀なくされている人々や特別養護を必要とする人々を含めて、スカウティングがすべての青少年にひらかれる運動であるということをより強調するようになっていきます。

『Scouting for all』の精神はこの運動の根幹であり、第9回日本アグーナリーにももろん生かされています。



# News

AUGUST 2003  
SCOUTING JAPAN



## 活性化のためのネットワーク作り

スカウティングが展開される領域は、非常に幅が広く、地域社会においても様々な場面で、多くの団体や人々と関わり合ってきました。完全学校週5日制が実施されてからは特に、地域行政、学校、他の青少年団体等と連携を取りながら活動をするという機会が増えました。「ちかい」と「おきて」の実践を柱とするスカウト教育の理念や方法論が注目され、地域でのノン・フォーマル教育の推進

役として、この運動に大きな期待が寄せられています。また、行政や他団体との協力関係を強化し、地域でのネットワークの構築を目指すことが、スカウティングの活性化にもつながっているようです。

## 地域の子どもたちを招いて

夏のキャンポリーをはじめ、全国各地でたくさんのお祭り・行事が開催されています。今年の最も大きな特徴は、スカウト以外の地域の子どもたちに参加を呼びかけ、開放的な雰

囲気の中でプログラムが実施されていることが挙げられます。地域に貢献し、子どもたちにスカウト体験を提供することは、この運動への認知、理解度を深めていくことになり、「地域の中のスカウティング」のアピールは組織拡充への効果も期待されています。

## 9NA「あいことばは“ We can”」

この「スカウティング」がお手元に届けられる頃には、9NAは開幕していることでしょう。9月号にて速報の予定です。

1 fri	第9回日本アグーナリー (7月31日～8月4日)
2 sat	第2回ディレクター会議 (～3日)
3 sun	
4 mon	平成15年度(江原道)日韓スカウトフォーラム派遣/出発直前準備訓練 (～6日)
5 tue	平成15年度(江原道)日韓スカウトフォーラム派遣/結団式・壮行会
6 wed	平成15年度(江原道)日韓スカウトフォーラム派遣/出発 (16日帰国) 第3回組織検討タスクチーム会議
7 thu	
8 fri	
9 sat	
10 sun	平成15年度国際キャンプスタッフ計画派遣/帰国
11 mon	スコットランド・ボンジャム2003派遣/帰国
12 tue	
13 wed	
14 thu	
15 fri	
16 sat	平成15年度(江原道)日韓スカウトフォーラム派遣/帰国
17 sun	
18 mon	第2回H15ユースフォーラム運営委員会
19 tue	
20 wed	
21 thu	第5回日本連盟80年史編纂特別委員会
22 fri	副リーダーートレーナーコース第47期 (～26日)
23 sat	
24 sun	第3回企画調整会議
25 mon	
26 tue	
27 wed	
28 thu	平成15年度スカウトオーストラリア短期留学(学習旅行)派遣/帰国 福島連盟創立 (1959)
29 fri	岐阜県連盟創立 (1959)
30 sat	
31 sun	第4回コミッショナーハンドブック改訂タスクチーム 埼玉県連盟創立 (1959)



### 『これがベンチャーの生きる道』 岡山・都窪第2団 林あゆみ

ボランティア精神に支えられているスカウト運動。楽しい隊活動の舞台裏は、それはもう大忙し。集会だ！行事だ！大会だ！大変だ！指導者が足りない!? こんな時は私たちベンチャーに招集がかかります。可愛い後輩スカウトのためなら喜んでお手伝い。「女子スカウトの面倒見るにはやっぱり女性リーダーよねえ」よく聞く台詞、そしてとても大切にデリケートな問題。「よっしゃ！私の出番だ。一肌脱ごう！」いつもこの調子で引き受けて…。大好きなスカウティングのためとはいえ、ベンチャーとして自分のプロジェクトにも取り組まなきゃねえ…とほぼ。

## CONTENTS

Scouting View	あいことばは “We can” ……………2
Introduction	SCOUTING FOR ALL ……………3
SAJ News	活性化のためのネットワーク作り ……………4
Essay	『これがベンチャーの生きる道』 ……………5
Explanation	第9回日本アグーナリー開幕 ……………6
Report	地域の中のスカウティング ……………8
Club Scout	ROPE …………… I～VIII
Faith	隊長への手紙 信仰心を育むために ……………15
Report	指導者向けスキルアップのための集会 ……………16
Project	バングラデシュ派遣報告 PART2 ……………18
Information	おしらせ ……………20
Letters	読者のページ ……………24
Shopping	スカウトショップニュース ……………27

〈凡例〉 = 日本連盟 = プログラム = トレーニング = アダルトリソース  
 = 組織拡充 = 大会・行事 = 啓発・読み物 = 国際 = 編集部  
 = 読者投稿 = 資料センター = クラブスカウト = その他の注目記事等

9NAに参加するスカウトたちは、それぞれに夢と目標を持ち、4泊5日の日程で様々なプログラムに挑戦します。



### あいことばは "We can"

スカウトたちにとって、大会への参加は大きなステップ・アップのチャンスです。キャンプ生活を通して、たくさんの仲間と友情を育むこととなるでしょう、勇気を持ってチャレンジすれば必ず目標は達成されます。「あいことばは "We can"」。ゆっくりとした歩みかもしませんが、着実な成長がそこにはあるのです。

# 第9回日本アグーナリー開幕

この夏最大のキャンプ大会である第9回日本アグーナリー(9NA)が、いよいよ開幕の時を迎えました。石川県珠洲市、日本海に突き出た能登半島の先端で、スカウトたちの新しい挑戦が始まろうとしています。

ゆとりのあるプログラム展開、そして全体日程にも余裕をみた時間配分、会場・施設への配慮、運営面の細かい気配り…万全の準備を整え、この日を迎えることができました。

障害を持ったスカウトが相集い、キャンプ生活を通して仲間とふれ合い、友情を深め、自信と勇気に満ちた生活態度を獲得し、明るい希望を持って社会に参加できるように…そんな「We can」を実現させるのがこの大会の大きな目的であり、特徴です。



## 日本の「障害児スカウティング」

スカウティングの世界的な動きとして、「障害児のために」といった特別扱いするようなニュアンスはなくなってきています。そしてスカウト運動そのものが、障害のある青少年も含めてすべての人々にひらかれているのだという考え方から、「スカウティングフォア オール」という表現を用いています。

ボーイスカウト日本連盟では、1972年に障害児スカウティングの課題について組織的



9NAのシンボルマーク。一般公募の中から選ばれた、可愛いイラストをあしらった作品。スカウトたちの間でも人気が高く、すっかりおなじみとなりました。

## 第9回日本アグーナリー (9NA)

- 期 日 2003年7月31日(木)～8月4日(月)
- 場 所 石川県珠洲市「りふれっしゅ村 鉢ヶ崎」
- テーマ 「広がる夢 友情の輪」～あいことばは "We can"～

## アグーナリーの歴史

な活動を始め、そのわずか1年後の1973年には、早くも第1回日本アグーナリーを開催しました。以来熱心にこの分野に取り組み、過去8回「日本アグーナリー」を開催する等、スカウト運動を通じて、心身に障害のある青少年の健全な育成と社会参加を、重要な課題として運動を進めてきました。

1981年の「国際障害者年」や、1983年から始まった「国連障害者の10年」の推進により、各国社会の障害者に対する一般的な姿勢は、大きく変化してきました。障害者の地域社会への参加を進め、ノーマライゼーションの実現が図られるようになっていきます。

この世界的な動向は、日本の障害児スカウティングにも影響を与えています。そして、「スカウティング フォア オール」を目指す方向性が、9NAを支えているのです。

### 大会のテーマ

「広がる夢 友情の輪」～あいことばは "We can"～。この9NAのテーマには、いろいろな思いがこめられています。そしてそれは長年にわたって生まれ、継承されていったスカウト関係者の方々による障害児スカウティングへの情熱の象徴でもあります。

第1回大会は「かぎりなく、はばたこう」、第2回大会以降第6回までは毎回「のりこえよう大地をふんで」をテーマに、アグーナリーは多くの障害スカウトたちに勇気と励ましを与えてきました。第7回大会では「広がる夢 友情の輪」として、参加障害スカウトたちに21世紀に対する夢を持たせ、それを実現させる意欲をわきたたせるテーマを設定しました。21世紀初の今大会では、第7回、第8回と踏襲してきたアグーナリーの意義を継承して、明るい夢のある大会とすることを目的に、このテーマを選択しました。

「We can」(我々には、それはできるのだ)は、世界スカウト機構が、各国スカウト組織の指導者を対象として“健康や障害についての意識”を高めていくために発行しているプログラム資料の名称でもあり、世界的なボーイスカウト活動の中でも「障害(者)」に対する意識を考える標語ともなっていることから、8NAに引き続きこの言葉を大会のサブテーマにしました。

#### 第1回日本アグーナリー

- 期 日 1973年8月17日(金)～8月20日(月)
- 会 場 県立愛知青少年公園
- 参加人員 200人
- テーマ 「かぎりなく、はばたこう」



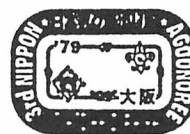
#### 第2回日本アグーナリー

- 期 日 1976年7月30日(金)～8月3日(火)
- 会 場 県立愛知青少年公園
- 参加人員 336人
- テーマ 「のりこえよう大地をふんで」



#### 第3回日本アグーナリー

- 期 日 1979年8月3日(金)～8月7日(火)
- 会 場 大阪市長居公園
- 参加人員 660人
- テーマ 「のりこえよう大地をふんで」



#### 第4回日本アグーナリー

- 期 日 1983年8月5日(金)～8月9日(火)
- 会 場 兵庫県立嬉野台生涯教育センター
- 参加人員 972人
- テーマ 「のりこえよう大地をふんで」



#### 第5回日本アグーナリー

- 期 日 1987年7月31日(金)～8月4日(火)
- 会 場 静岡県御殿場市国立中央青年の家
- 参加人員 989人
- テーマ 「のりこえよう大地をふんで」  
～富士のふもとで、元気にはばたこう～



#### 第6回日本アグーナリー

- 期 日 1991年7月25日(木)～7月29日(月)
- 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
- 参加人員 851人
- テーマ 「のりこえよう大地をふんで」



#### 第7回日本アグーナリー

- 期 日 1995年7月26日(水)～7月30日(日)
- 会 場 国立妙高少年自然の家
- 参加人員 880人
- テーマ 「広がる夢 友情の輪」



#### 第8回日本アグーナリー

- 期 日 1999年8月5日(木)～8月9日(月)
- 会 場 松山市野外活動センター
- 参加人員 1,143人
- テーマ 「広がる夢 友情の輪」  
～あいことばは "We can"～



# 地域の中のスカウティング 1

完全学校週5日制の実施に伴い、地域社会においては、青少年の多様な体験活動の機会を充実させるための取り組みが始まっています。この流れに呼応する形で、各地域でのスカウト活動にも様々な動きが出てきました。今月の『スカウティング』では、報告があつたいくつかの事例をご紹介します。



◀ ボーイスカウトの指導で「手旗信号」

▼ 「自然観察」ネイチャーゲーム



## 野外体験ゲームに参加しませんか？

和歌山・和歌山第21団団委員長 嶋田士郎

**みんなておいでよ!**  
アウトドア・サタディスクール  
**野外体験ゲームに参加しませんか?**

**5月24日(土)**  
午前9時30分~11時30分  
**安原小学校 運動場**  
(各小の身体教育館をお借りしています)  
「たのしいゲームをやってるよ!」

和歌山県和歌山市  
3070790 和歌山第21団  
**ボーイスカウト和歌山第21団**

▲チラシ

アウトドア・サタディスクール  
野外体験ゲームに参加しませんか?  
**招待状**

家族も大歓迎! その子も大歓迎!  
みんなで楽しいゲームを遊ぼう!

**5月24日(土) 9:30~11:30**  
場所: 安原小学校運動場  
(和歌山県和歌山市)

和歌山県和歌山市  
3070790 和歌山第21団  
**ボーイスカウト和歌山第21団**

▲招待状

「なわむすび」少しむずかしいかな?▶

スカウトならではのスキルを紹介するプログラムで、頭を使い、手を動かすことの楽しさを伝えました。小さな子どもたちも興味を持って参加してくれました。

昨年春から完全学校週5日制が実施され、和歌山でも一部の小学校育友会が児童の余暇活動の手助けとして、囲碁・茶道・習字・手芸・英語・スポーツ等の「土曜学級・ふれあい教室」と銘打った学校開放を行っています。

和歌山市内には小学校が50校あり、当団には9校からの児童が活動に参加しています。今回、比較的そのような企画の少ない郊外の小学校に絞り、その小学校に在籍するスカウトの保護者が小学校側と折衝窓口となって、スカウト技能をゲームにアレンジしたアウトドア・サタディスクール「野外体験ゲームに参加しませんか?」を企画立案し、小学



校長に提案、学校育友会の承認を得て、5月24日(土)に実施しました。

事前にスカウト募集ポスターの下部に開催案内を貼付、小学校内やスカウト保護者宅周辺、役場支所、公民館、郵便局等で広報しました。また、ハガキ大の招待状を作成し、小学校の全児童に配布していただきました。

当日は、低学年から高学年まで74人の児童が参加。ボーイスカウトによる国旗掲揚の「開会セレモニー」に始まり、運動場に設けた7つのポイントを、参加した児童が思い思いに巡ってそれぞれに体験チャレンジ。各ポイントでは、隊指導者による実技指導。ゲームの後、保護者の協力での揚げたてのフライドポテトのおやつとお茶のサービス。最後に国旗降納の「閉会セレモニー」で約2時間のプログラムは事故もなく終了しました。

今回は当団のビーバースカウトからボーイスカウトまで全員が参加し、ビーバー・カブスカウトたちは参加した児童らとともにゲームに挑戦、ボーイスカウトは手旗ポイント等で参加児童に指導したり、テントを張ったりと、スカウト活動をPR。

日頃、体験することの少ないスカウト技能ゲームは、参加の児童に大好評でした。小学校長も予想以上の盛り上がり喜んでくださり、見学に来られた育友会長からは今後の小



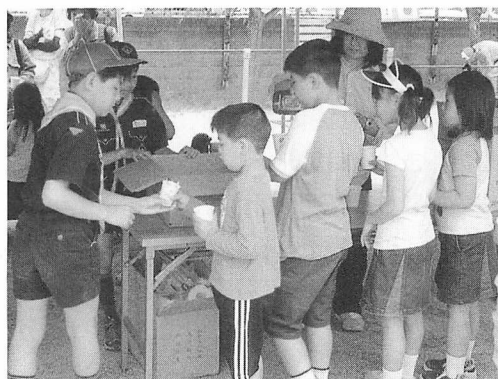
学校土曜日開放へのボーイスカウトの協力支援の要望を受けました。

今後はこのイベント企画をモデルケースにして改善を加え、地域の子どもたちにスカウト活動の楽しさを知ってもらうため、スカウトの在籍する小学校に提案し、「+5、-0」少しでもスカウト人口拡大につなげていきたいと考えています。

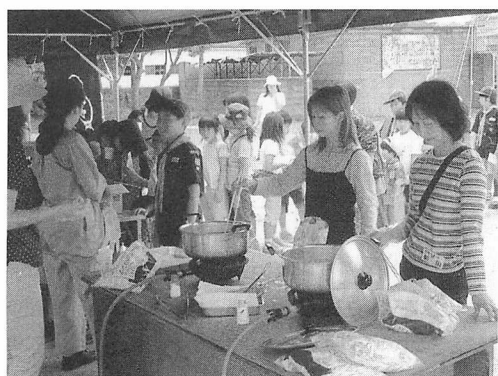
## プログラム

プログラムの内容は、チャレンジカードを持って7つのポイントを巡るゲーム。

- 【なわむすび】** 数種類のなわむすびを実演し、簡単なものを体験する。
- 【感覚ゲーム】** 1円から500円の硬貨の入った空缶を振り、音で聞き分けする。
- 【計測ゲーム】** 自分の身体の部位の長さを測り、それをもとに物を実測する。
- 【世界一周】** フェンスに20か国の万国旗をパネル展示、国名を当てる。
- 【手旗信号】** 手旗原画を実演し、体験。白・赤旗上げゲーム。
- 【キムスゲーム】** 10～15種類の小物を観察した後、記憶のテスト。
- 【自然観察】** 運動場隣の小公園でのカモフラージュされた自然を見つける。



▲ゲームの後のおやつ「フライドポテト」のサービスです、



▲おやつ「フライドポテト」間に合わないよ 早く、早く。



▲「感覚ゲーム」500円コインはどの缶かな？



▲「感覚ゲーム」コインの音はこんな音だよ(ヒント提供中)



▲エコテントの中で「キムスゲーム」

## 地域の中のスカウティング 2



◀募金活動は駅やスーパー等、管内10か所に分かれて行っています。事前に許可(書面で提出)を得て、協力をいただいています。

▼毎年4月第1土・日曜日の2日間、「桜まつり」が行われます。模擬店にパネルを展示、子ども連れの方にリーフレットを配布しています。



# 1家族で1人の仲間を！

## 本年度登録140%アップ達成

奈良・磯城第1団団委員長 城戸重雄



▲指導者宅前のポスター(年間を通じて訴えかけをしています)。

奈良県連盟では、平成14年度から2年間を組織拡充・アダルトリソース推進モデル県連盟として、日本連盟から指定を受けました。「より良いスカウティングを、より多くの青少年に！」のスローガンに呼応して、我が団でも「スカウト・育成会員の1家族で1人の仲間を！」のスローガンを掲げ、組織拡充に取り組みました。結果、ビーバー20人、カブ12人、ボーイ3人、合計35人の新入スカウトを迎えることができました。残念ながらカブ3人、ボーイ4人、ベンチャー5人(大学進学で遠方のため)の計12人の退団者を数え

ましたが、スカウト数は前年60人から84人(1人復活)となり140%アップ、前年度の107%アップに引き続き、増加を測ることができました。

隊員募集は、団委員長や組織担当者等一部の人間たちだけで成し遂げられるものではありません。まず初めに上記のスローガンを伝え、育成会での取り組みをお願いしました。我が団の育成会は地域により班別にはしていますが、団会議には指導者だけではなく班長も出席し、団・育成会の動きや隊の活動を知ってもらうようにしています。そして班会議を開き、班長を中心に取り組み方を話し合ってもらいました。また、毎月発行している育成会だよりも掲載して(3か月間)育成会員に訴えかけを行い、近所の子どもたちに声かけや入団案内リーフレットを渡す等の活動を行いました。なかなか全員一丸とはいきませんが、育成会員への意識付けにはなっていると思います。

広報については、教育委員会に管内各小学校の児童数を確認し、学校へチラシ配布の依頼をすることの了解を得てチラシを作成し、育成会員が学校へ持参、全児童(2,444人)に渡しました。その他、町の広報誌に募集記事の掲載、町内各所にポスターを貼り、指導者宅の玄関にはボーイスカウトの入団案内(需品の案内板)を掲示しました。

保護者説明会で入団を躊躇される方には、体験入隊や見学を勧めます。参加後に入団を決められることもあります。



**人**

学校通らば自前で、さらに活動が充実  
子どもたちの自主性を育てます

**町の広報誌**  
掲載されました



◀広報誌「たわらもと」の表紙

町の広報誌6月号の「CLOSE UP! "人"」に取り上げていただきました。役場から打診があったときは、私のような者がおこがましいと思いましたが、「これもボーイスカウトのPRIに役かうことにならぬのでは…」と考え、引き受けました。

組織拡充の研修会等で各団の取り組み事例と評価を聞きます。この手段は効果があったのでこれから強力に推進していくが、こちらの方法はあまり役立たなかったのが消極的に…という面もあります。数字にあらわれるものや目に見えて結果が出るものもありますが、目に見えない、聞こえてこない効果も大いにあると考えています。隊員の募集に画期的なことや奇策等があるはずもなく、日頃の地道な活動が結びつくものと思います。

平成14年度より学校週5日制が実施され、「ゆとり」の中で、学校・家庭・地域社会が相互に連携し、子どもたちに社会体験・生活体験や自然体験などの活動を体験させ、自ら学び自ら考える力や豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力等の「生きる力」を育むとされています。私たちの活動は益々重要性が増しており、魅力あるプログラムの展開と新入隊員の獲得に向けて、今後も地道な活動を続けていくつもりです。

平成14年度新入隊員募集!

### 日本ボーイスカウト磯城第1団

◎対象 平成15年4月現在  
 ▼ビーバースカウト 小学校1～2年生の男女  
 ▼ワフスカウト 小学校3～5年生の男女  
 ▼ボーイスカウト 小学校6年生～中学生男女  
 ▼ベントリースカウト 高校生(またはその年代)男女  
 ▼ローバースカウト 大学生(またはその年代)男女  
 (または指導者) 8指導者の研修・訓練は充実しています。

磯城1団は、田原本町を中心に郡内で活動しています。入団希望の方は、田原町教育委員会事務局社会教育課までお電話にて、お申し込み下さい。  
 お申し込みいただいた方に後日保護者説明会を開催します。  
 申込先 田原町教育委員会事務局社会教育課  
 TEL. 44-2214  
 問い合わせ 日本ボーイスカウト磯城第1団 責任者  
 団委員長 城戸 達雄  
 TEL/FAX 07443-3-0335

地域で発行されている広報誌等に、募集広告を載せてもらっています。



▲「育成会だより」で訴えかけ。



▶「子どもフェスティバル」では、ボーイと指導者で信号塔を建て、一般の子どもたちに開放し、パネル展示も行いました。



▼毎年7月の第3金・土・日曜日には対馬神社の「祇園まつり」が行われ、多くの人が出がります。その中日の土曜日に、商工会青年部の主催で多くの団体が参加する「町民夏まつり」が実施されます。踊りや山車・みこしが繰り出し町内を巡ります。参加したビーバーたちは「あつまれビーバー」のみこしで街中を練り歩きました。



2002.07.20

我が団では地域に密着した運動を展開していますが、事例を挙げますと、

◎育成会では…

- 商工会主催の桜まつり参加(模擬店)
- 町の文化祭参加(模擬店)
- 銀行のロビーでボーイスカウト展の開催(パネル展示)
- 廃品回収の実施(2か月ごと)

◎スカウト関係では

- 募金活動(5月に緑の募金、年末に歳末助け合い募金)  
 募金は発団以来地域の社会福祉協議会へ渡しています。本年永きにわたる功績により田原本町・三宅町両町の協議会より感謝状を受けました。
- 清掃奉仕活動(5月にライオンズクラブ主催、9月に親切・美化奈良県民運動推進協議会主催)
- 障害者団体イベント奉仕(郡内重度身障者団体の盆踊り等の模擬店手伝い)
- 各イベント参加(子どもフェスティバル、町民夏まつり等)

◆ ◆ ◆

このような日頃の活動が、目には見えませんがボーイスカウトのPRにつながっているものです。その他、女子受入も率先して取り組み、障害児スカウトの入隊も積極的に行っています。これらの姿勢も少なからず影響を与えていると思っています。

## 地域の中のスカウティング 3



◀ 2003年度  
モクレンの植樹。  
樹木の成長は、同時にスカウトたちの「心の成長」の証でもあります。地道な活動を継続することに意義があると考えます。

活動を続けられたのは、多くの人々のご支援と緑化運動に対するご理解とご協力のお陰であると感謝しています。したがって、受章は団だけのものではなく、これらの人々の代表として受けたものと思っています。

この奉仕活動は、団の年間プログラムに定着化しており、特にビーバー・カブスカウトたちの楽しみのひとつになっています。今年の団の植樹祭も昨年と同様、吹田市青少年野外活動センターにモクレンの樹を植えました。年々育っていく樹を眺めながら、奉仕活動を通じてスカウトたちの心も体も、さらに大きく育ってくれることを期待しています。

## 奉仕活動は継続するところに喜びが生まれる

大阪・吹田第4団 本田博義

▲表彰を受けて喜ぶスカウトたち。自分たちの活動が地域で認められたことは、大きな自信となりました。

去る4月29日、第51回大阪府植樹祭の会場にて、豊中第17団とともに吹田第4団が緑化功労者団体表彰を受章しました。30数年続いている「緑の羽根募金」と「植樹」の奉仕活動が認められたものと思います。

## 地域の中のスカウティング 4

▼1枚の印画紙にスカウトたちの様子が9点焼きこまれた、ユニークで楽しい写真を同団から提供してもらいました。



### 春の野草でクッキー作りと菜の花染めにチャレンジ

福岡・直方第3団団員 中村秀子

春の野草を食べて、菜の花でハンカチーフを染めてみよう！というテーマで、直方市の中心を流れる遠賀川の河川敷を利用した環境学習「遠賀川リバーチャレンジスクール」が開かれ、カブスカウトの組集会として参加しました。

河川敷で野草と菜の花を摘み、菜の花から作った茶色い染液でシルクの布を煮ました。スカウトたちは、鮮やかな若草色に変化する様子を見て不思議がっていました。また、花染めの空き時間で摘んだ野草を小さく刻み、クッキーの生地に乗せてオーブンで焼き、粉だらけになりながら作ったクッキーは、とてもやさしい味がしました。

地域の子どもたちと一緒に参加しましたが、カブスカウトの制服で参加した私たちの活動している写真が新聞や広報誌に掲載され、スカウト募集に役があったと自負しています。

地域の中のスカウティング 5

地域のメディアの大切さ

千葉・八日市場第1団副団委員長 木村政夫

当団は2001年9月、15年ぶりに「復活」という形でカブ隊のみで発団し、千葉県連盟の中では一番新しい団です(2002年2月号『スカウティング』掲載)。

日頃から市の広報担当職員に、「ボーイスカウトの活動で何か面白い話題があったら取材に行きますから、教えてください」と言われていましたので、今回のカブ隊集会のことを情報提供し、取材に来ていただくようお願いしました。

千葉日報新聞社の記者の方には市の広報担当職員が連絡してくださり、当日取材に来てくださいました(市内には同新聞社「八日市場支局」があり、記者が配置されています。市の広報担当職員と日頃から密接なつながりがあるようです)。

多分、団から直接千葉日報にアプローチしても、取材はなかったと思います。市の広報担当課を通じた「ニュースリリース」が有効であることがわかりました。千葉県の片田舎の小さな団のカブ隊集会の話題ですが、新聞に載ったことにスカウトたちもびっくりしていました。

新聞に掲載された直後に、たまたま6月中旬に2回開催する「スカウト活動見学会のお知らせ」のチラシ配布について、市内および周辺2町内の小学校16校にお願いに行きました。市や町の教育委員会や校長に説明する際や、見学会来訪者にこの新聞記事をお見せして、具体的な活動内容のPR資料のひとつとして有効に活用しています。



田んぼで競走

走って転んで泥だらけ 田んぼで自然観察体験

ボーイスカウト八日市場第1団カブ隊

八日市場市匝瑛地区の田んぼで二十四日、ボーイスカウト八日市場第一カブ隊の十一人が、泥んこになって競走したり、自然観察を行った。カッパが田んぼで大暴れしているという想定。里山を愛する森のキツツキに、カッパのために稲が植えられない、他の生き物が食べられない、他の知らされたカブ隊が出動した。

まず、田んぼやその周辺にいる生き物を中心に自然観察。はじめは汚れたくないと恐ろしかった子供たちだったが、汚れたすと次第に大胆に。サリガニ、メダカ、カエル、オタマジャクシ、タニシなど、見つけた生き物を事前調査で作成した資料と照らし合わせて発表。続いてカッパ捕獲の足慣らし。三班に分かれて田んぼの中でリレー。子供たちは泥に足を取られ悪戦苦闘しながら力走した。カッパ役は保護者練習したロープのまやい結び、本結びで悪さをするカッパを捕まえた。

転んで泥まみれになったり、ヒルにかまれた子供もいたが、大人も子供も田んぼに入るのは初めて。貴重な体験に笑顔が絶えなかった。

千葉日報(2003・5・27)

ボーイスカウト・ガールスカウト 活動活性化のための調査研究報告書が完成

スカウト運動を活性化させるための調査研究は今年で3年目となりました。過去2年は組織内部の調査が中心でしたが、本年は外側にも目を向け、地域におけるスカウティングのあり方、および行政や他団体とのネットワークの有効性について、様々な角度からの調査研究・事例の報告をもとに、わかりやすくまとめられています。

地域社会における青少年の多様な体験活動を実現するためには、ボーイスカウト・ガールスカウトが先頭に立ち、青少年団体を中心としたまとまりに、行政や学校、PTAや自治会等の地域の関係機関・団体が、協力・連携する「地域ネットワーク」の構想が急務であると考え、今後より一層、地域社会と連携した取り組みを進めるため、青少年団体、民間

地域ネットワーク作りと青少年活動

団体、地域団体の事例を調査し、その成功の要因や課題の整理を試みました。それらを基にアクションプランを策定・試行する中で、青少年活動を活性化し、青少年の多様な体験活動の機会を充実させるための方策の提言を目指しました。

本調査研究の実施、報告書の作成にあたっては、調査検討委員会を設置し、部外専門家の方々のご協力をいただきました。

□調査検討委員会 部外専門家

- 川北秀人 人と組織と地球のための国際研究所(IIHOE)代表者
- 栗原 潔 千葉県学童保育連絡協議会事務局長
- 谷井淳一 NYC事業部事業課主任研究官
- 田原信幸 (社)全国子ども会連合会主査
- 松下俱子 聖徳大学教授



地域におけるスカウティングのあり方、学校や行政、他の青少年団体との連携等、机上論ではなく活動の現場に踏みこんだ調査報告としてまとめられています。この報告書は、すべての団にお届けすることになっています。送付方法等については、追ってお知らせします。

## 地域の中のスカウティング 6

### 提言

ぼくたち、私たちの未来の海のために。そして、そこで暮らすすべての人のために。小さなことから、できることから始めます。ふるさととの未来のために。



### 恒例のビーチクリーン清掃

香川・大川第3団BS 古市起也

ぼくが胸につけているパンダのバッジは、「世界環境保護バッジ」といいます。環境保護活動に積極的に参加したすべてのスカウトに与えられるものです。それは努力のしるしです。ぼくたちスカウトは、個々に出せる力を十分に発揮して、日々努力しています。「感謝の心を持つ」。ボーイスカウトの「ちかい」のひとつです。自然の恵みを知り、自然を大切にすることを培うということです。大自然の恵みがあってこそ生きていけるのです。また、風の音、虫の音にも耳を傾けてこそ自然の変化に気づくことができるのです。だから毎年ぼくたち大川第3団は、近くの海岸の清掃をしています。でも、翌年同じ場所に行くと、また元の状態なのです。毎年清掃しているのに、完全に海岸が美しくなるといったことがありません。しかし、これからもこの海岸清掃は続けていこうと思います。ぼくたちスカウトはあきらめません。そしてもっとも自然への関心を高め、自然のあり方を理解する心を持ち続けていたいと思います。

## ふるさととの海岸づくりを考える シンポジウムで感想文朗読

香川・大川第3団委員長 同田明雄

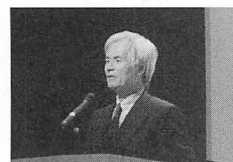


▲シンポジウムの新聞広告。地元ではとても注目度の高い催しでした。

クリーン「さめき瀬戸」リレーシンポジウムが5月31日、東かがわ市において開催されました。美しく、いきいきしたふるさととの海岸作りについて考える、香川県と四国新聞社の主催です。私たち大川第3団ボーイスカウトの古市起也さんと小西未紗さんの2人は、「ビーチクリーン活動」「私たちが守る私たちの海」のテーマで感想文を朗読し、「ちかい」「おきて」を通して環境美化、美しい海辺の創造を訴えました。そして2人で提言を宣誓し、会場500人の方々からの賛同の拍手を受けました。



▲パネルディスカッション。



▲講演する堀江謙一氏。

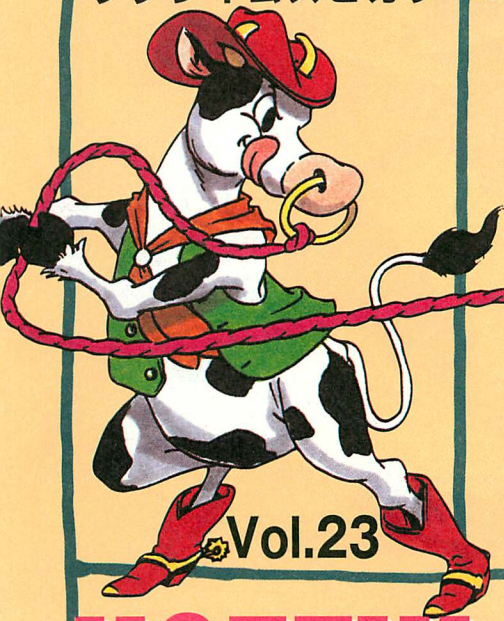
バックのスクリーンでは、当団恒例の海岸清掃の様子や活動状況が映し出され、ボーイスカウト活動がアナウンスされました。

基調講演は海洋冒険家の堀江謙一氏が「世界の海から瀬戸内を考える」と題し、ヨット「マーメイド号」にて行った単独太平洋横断の経験を話されました。パネルディスカッションでは、香川県情報発信アドバイザーの植松おさみ氏をはじめ、専門家の方々と中高生の意見発表もありました。

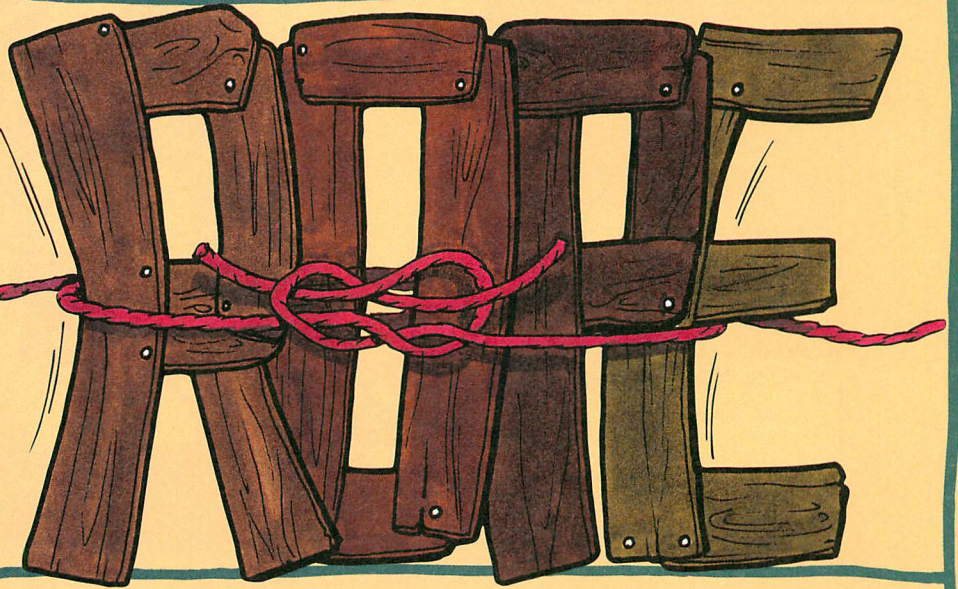
### 私たちが守る私たちの海

香川・大川第3団BS 小西未紗

私はボーイスカウトで地引網をしたことがあります。とても大きな魚やきれいな魚がとれて、すごく楽しかったです。しかし、そのときに気になったことがありました。海岸にたくさんのゴミがあったのです。私たち大川第3団では、毎年、海岸の清掃をします。そして、毎年多くのゴミを海で拾います。しかし、いくら掃除をしてもゴミはまだあります。それはみんなが海にゴミを捨てるせいだと思うのです。このままこんなことが起こり続けたら魚も減ってしまい、地引網もできなくなってしまいます。ボーイスカウトの「おきて」のひとつに、「スカウトは親切である」というものがあります。この意味には、動植物にやさしくするというのがあります。この「おきて」を守り続けられるよう、私たちボーイスカウトが中心となり海をきれいにしていきたいです。そして、みんなが自覚して海岸にゴミを捨てる人がいなくなって、きれいな海になり、多くの魚がすめるようになってほしいです。



Vol.23



# USEFUL KNOTS

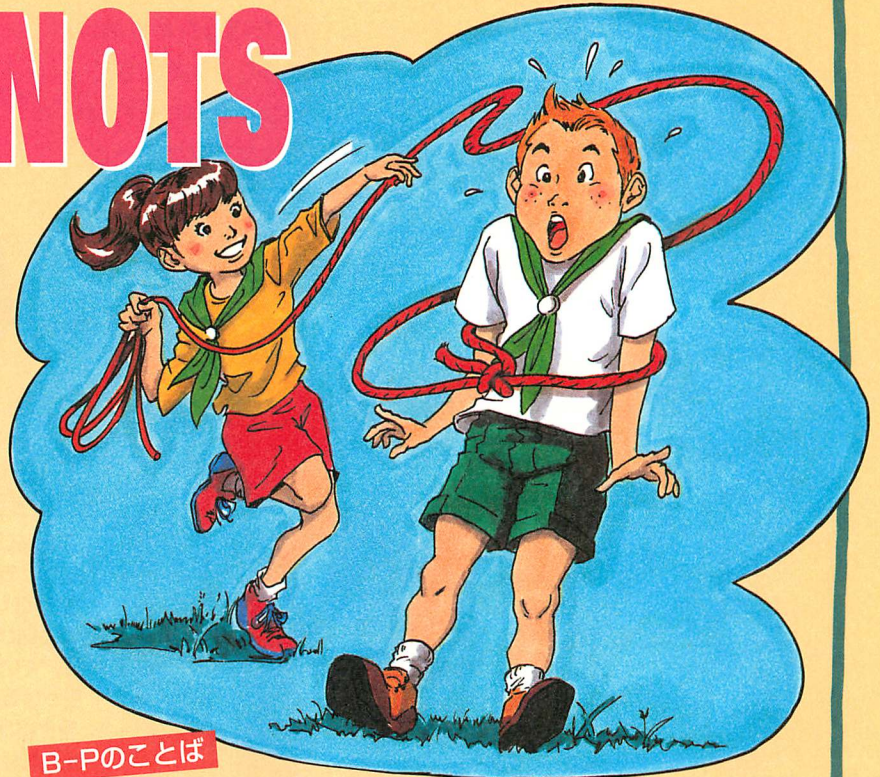
## 役に立つ結び

正しいロープの結び方を知っていれば、いろいろな場面で役に立つ。B-Pは「スカウトは、誰でも結びができなくてはいけない」と話している。また、正しい結び方を知っていなければ、命にかかわることさえあると続けている。B-Pの著書で有名な「スカウティング フォア ボイズ」に「正しい結び目」と「悪い結び目」についての記述があるので、紹介しよう。「正しい結び目は、どんなに引っ張っても解けないが、解こうと思えば楽に解くことができる。悪い結び目は、強く引くとすべり抜けたり、固くからみ合って解けなくなったりする」簡単なことのようにだが、結びは十分に練習しないと忘れてしまう。

(右の英文は、「スカウティング・フォア・ボイズ」に記された原文だ。辞書を使って訳せるかな?)

## ロープワーク

ロープをうまく使えば、役に立つものを作ったり、ものを支えたりできる。ロープワークの歴史は古い。今でも野外活動では、なくてはならない技能のひとつだ。きみもスカウトとして、用途と目的を明確にし、場面に適した正しい結びができるようになろう。

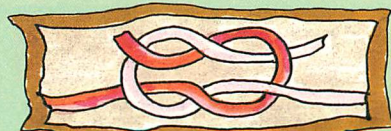


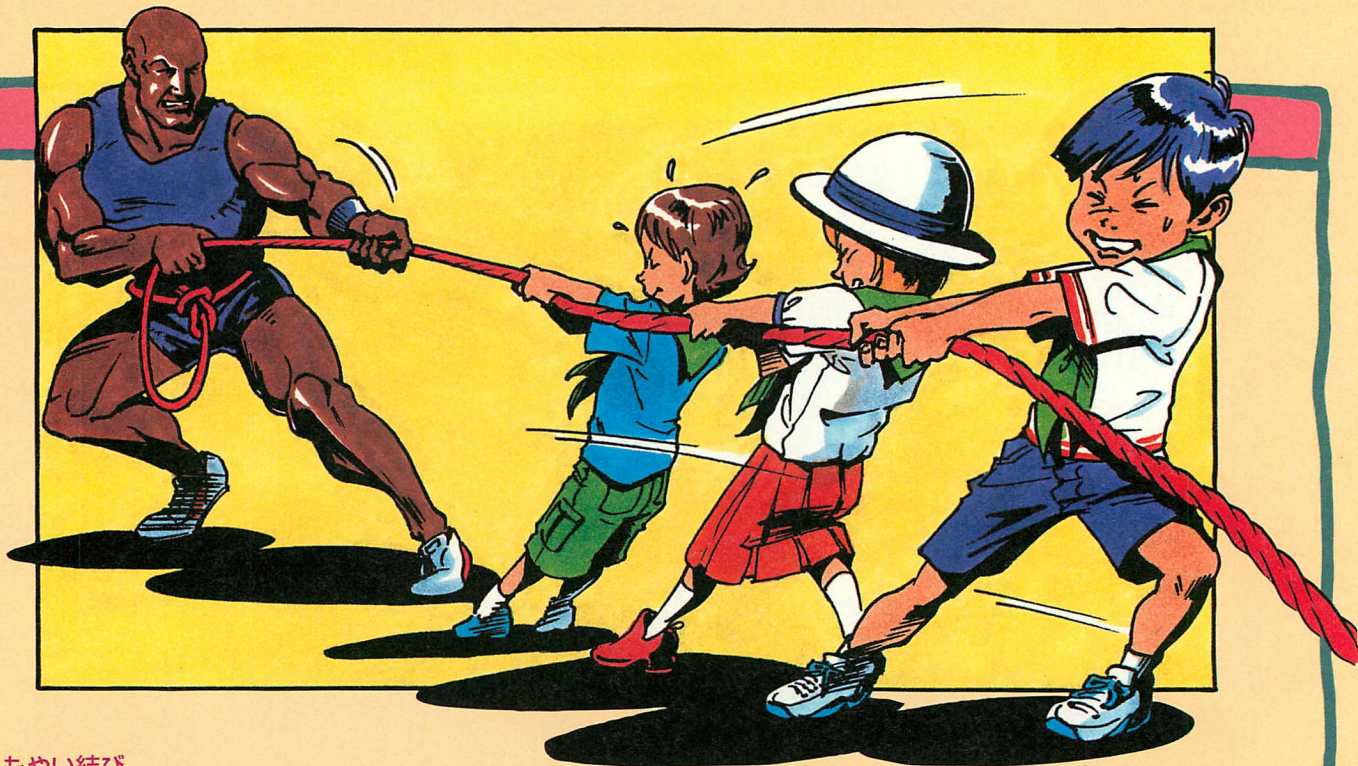
### B-Pのことば

The right kind of knot to tie is one which you can be certain will hold under any amount of strain, and which you can undo easily if you wish to. A bad knot is one which slips when a hard pull comes on it, or which gets jammed so tight that you cannot untie it. The best way to learn is to get a fellow who knows to show you.

### スカウトくんクイズ

スカウトくんは「本結び」に挑戦した。これで正しいだろうか？間違っているとしたらどこだろうか？



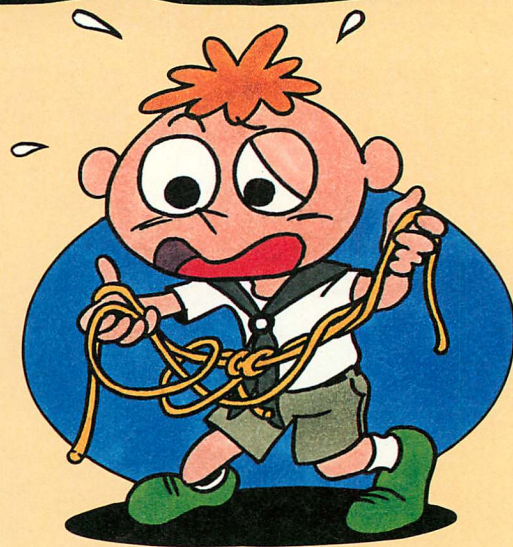
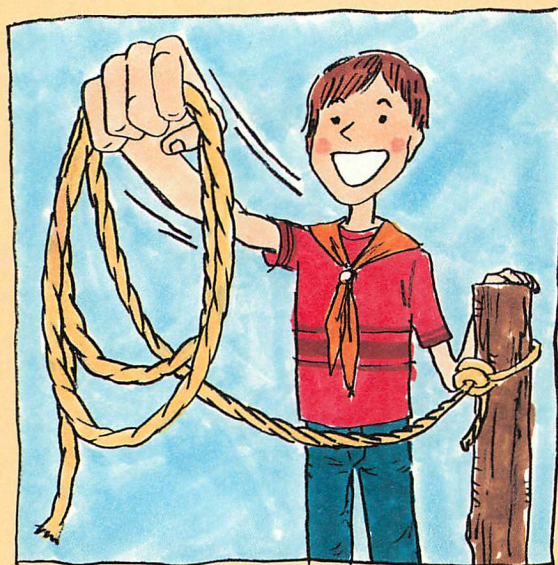


### もやい結び

#### THE BOWLINE

人の体に巻きつけ、建物の上から降ろす時などに使う結び目の動かない輪。輪を作り、その元に小さい輪を作る。上のイラストの力持ちそうな人も腰でもやい結びをしている。

野外活動では、様々な場面でロープを使用する。快適なキャンプ生活を送るためには、野営工作で、用具や設備を作り、仲間と良く話し合って使い勝手の良いサイト作りを行わなければならない。それにはまずスカウトとしてロープワークの基礎的な技術を身につけておかななくてはならない。



#### 1. ふた結び TWO HALF HITCHES

もっとも単純な「ひと結び」を完全にした結び方。結び目は、巻き結びになるよう「ひと結び」と同じ方向に2度結ぶ。

#### 2. ねじ結び TIMBER HITCH

柱、くい、荷物などにロープの端を縛るのに使ったり、丸太を引っぱるのに使う。ロープをねじり込む方向を反対にしない。

#### 3. 巻き結び CLOVE HITCH

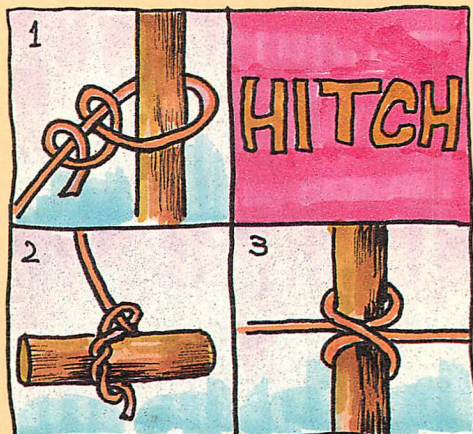
柱や帆柱を安定させるため、引き綱を柱に止める時や、足場を組み立てる時に柱と柱を結びつけるのに使う。



何をどう作るかによって使用する木や竹などの材料とともに、ロープの種類（材質、太さ、長さ等）も適切なものを選ばなくてはならない。また、多くの場合「ふた結び」または「ねじ結び」で始まり、「巻き結び」で終わるということをおぼえておくと良い。

### スカウトくん クイズのこたえ

イラストは「本結び」とは似て非なる「たて結び」になっている。たて結びは非常に不安定で解けやすい。ロープのクロス仕方に注意して練習しよう。



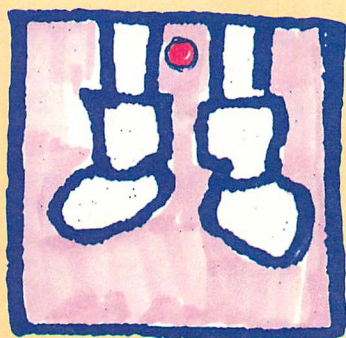
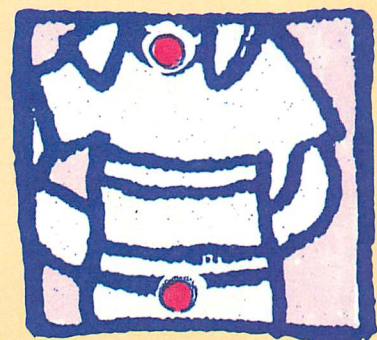
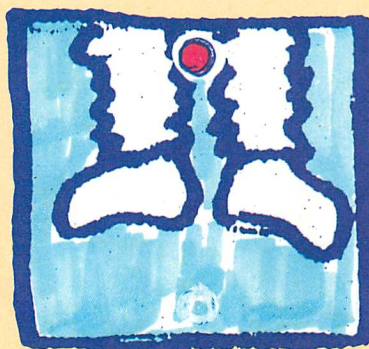
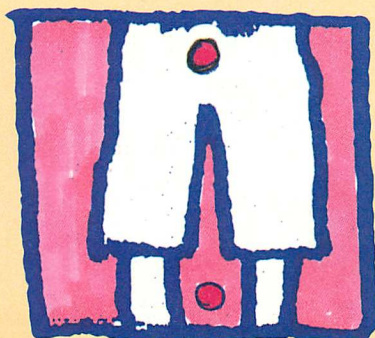
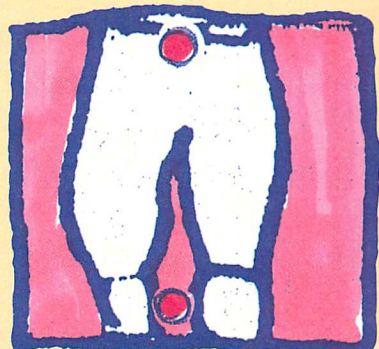
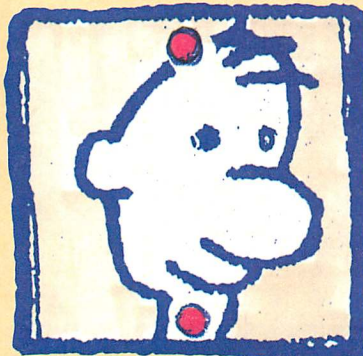
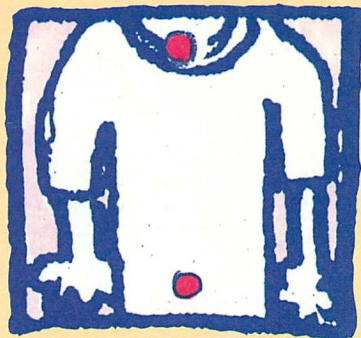
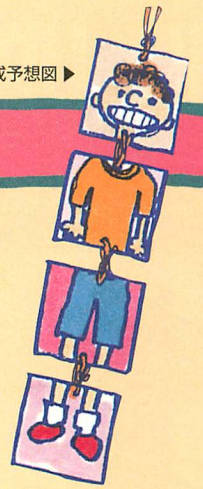


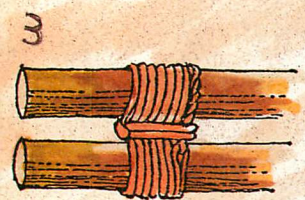
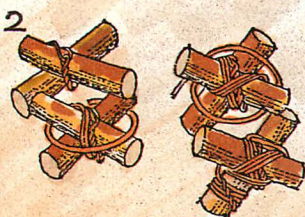
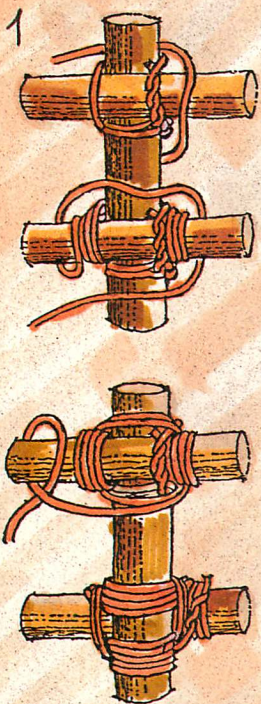
## ROPE

下のイラストは、色を塗って、太線の正方形で切り離し、それぞれのパーツに分ける。各パーツ指示された赤丸の場所に穴をあけ、ひもを通し「本結び」を用いて「顔」「シャツ」「パンツ」「くつ」の4枚をつなぎ、モビールを完成させる。

組み合わせは自由で、3体作ることができ

る。何枚かコピーして使用すれば、ゲーム等にも発展可能。例えば、形状や色を手掛かりにして、特徴を伝え、必要な4枚を早く集め、ひもを通して結んだ者が勝ち…とか、神経衰弱的要素を取り入れ、1度に4枚開いて、パーツがそろったらひもを通す（偶然できる形・色のパターンを楽しむ）などが考えられる。





ロープを使って、物と物を縛る方法を縛材法といい、身につけておけば野外活動においてとても便利で役に立つ技能だ。

ここでは、キャンプサイトの工作物に用される代表的な3つのロープワークを紹介する。丸太を縛るということを想定して、その方法の概略を紹介する。今後の活動の参考にしてもらいたい。そしてしっかりと練習して、実際に工作に挑戦してみよう。

### 1. 角しばり

#### ★ SQUARE LASHING

交差する2本の柱が、たがいにすれ合うように力が働く時、縛りつけるのに使う。まずロープの端を「巻き結び」によって一方の柱に固定する。次に2本の柱を交差させてロープを巻いていくが、3回ほど強く締め上げる。次に、巻いたロープを締めるためにロープを3回ほど強く回して割りを入れる。最後に「巻き結び」で止める。

### 2. すじかいしばり

#### ★ DIAGONAL LASHING

交差した2本の丸太を縛り合わせる結

び。交差しているところにねじ結びをかけ、丸太と丸太のすき間を締めてから、縦、横、各3回巻き、割りを2回入れ、最後に丸太の1本に巻き結びをする。

### 3. はさみしばり

#### ★ SHEAR LASHING

平行に並んだ2本の柱、あるいは足を少し開いた2本の柱を縛るのに使う。最初に片方の丸太に巻き結びをして、2本いっしょに5~6回巻き、丸太の間に「割り」を入れ、丸太の上部に巻き結びをして止める。





F05

# パイオニアリング



## PIONEERING

パイオニアリングとは、広野の開拓地で暮らすような本格的な設備を作ることを行う。日本のキャンプ場においては、野生の猛獣に襲われるような心配は、まずないのだが、背の高い信号塔や見張り台は、冒険を愛する者の証として、ぜひ作ってみたい。訓練を積んだスカウトたちが、チームワークを発揮してこそ完成できるのだ。



# SCOUT ACTIVITIES

2003 8  
活動紹介：ロープを使って

## GAME



## ロープを使ったゲーム 引っぱりあってバランス勝負

向かい合う2人が、1本のロープの両端を持って引っぱり合うゲーム。単純だけど駆け引きとかいろいろあって、奥の深いゲームだ。ロープが1本あれば、いつでもどこでもできる。引っぱり方に加減をつけて、相手のバランスをくずす。肩幅に開いた両足は、しっかりと固定していなくてはならない。よろめいて、1歩でも動いたら負けとなる。

力が強ければ良いというものではない。むしろ相手の力をいかに利用するかが大切になってくる。頭を使ったゲームなのだ。

2人の距離を変えたり、ロープの持ち方に制限を加えるなどのルールのパリエーションも工夫次第で広がっていく。下の写真では、

ロープを背中にまわして、片手で操っている。よりバランスが取りづらい体勢での勝負となる。慣れてくれば、難易度を上げて、高度な技を競い合ってみよう。



## ART

### 段ボールで秘密基地

大きな段ボールを使って大きな工作。カッターナイフでザクザク切るところは、安全のために大人が手伝う。自由な発想で、どんどんできあがっていく秘密基地。ロープでしばってつないでいけば、まるでトンネル迷路のようになっていく。余裕があれば、色を塗ってみるともっと楽しくなるだろう。耐久性は保証できないので「1日限りの夢のお城」と割り切ってワイワイガヤガヤ楽しもう。



どこから入って、どこから出られるのか？トンネルの中にロープを通してそれをたよりに進むというのもおもしろいかもね。

# 起こした火で糸を焼き切れ!

## CONGRATULATIONS

### チャレンジ章完修 おめでとう

カブスカウトとして、一生懸命に頑張っ  
て、チャレンジ章を全て取ったスカウトがまた  
また誕生した。石川・金沢第2団所属の村田  
真翔くん。同団60余年の歴史の中で、初の  
快挙だという。チャレンジ章の40課目を取  
得するなんて並大抵のことではない。ご両親  
の協力もあつたればこそその目標の達成。真  
翔くん、そしてお父さん、お母さん本当にお  
めでとう!



## FIRE



# スカウトはマッチ2本で火を起こせ!

「火の起こし方については、耳学問は役に  
立たない」とB-Pもハッキリと語っている。  
まず正しい方法を学び、実際に何度も練習を  
繰り返して身につけていくしかないのだ。

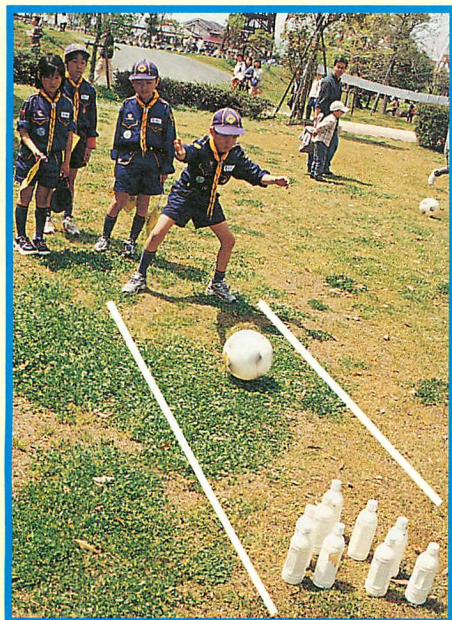
スカウトは、マッチ2本で…とは、大変厳  
しいようだが、自然の中では弱音を吐いたり、  
言い訳をしたりすることは許されない。風が  
吹いていようが、雨が降っていようが、ある  
いは、湿った地面からしか薪が集められない  
という状況だろうが、3本目のマッチは使え  
ないのだ。

写真は、火起こしの力を試すゲームの様子。  
積んだ薪の上に張られた糸が、炎によって焼  
き切れるまでの時間を競っている。班対抗で  
同時に火起こしをスタートし、先に糸を焼き  
切るだけの火を起こした方が勝ちとなる。ご  
まかしは効かない。真剣勝負だ。

## SPORTS

### ペットボトルボーリング

ほとんど説明不要。ピンは2リットルのペ  
ットボトル（水か砂を少し入れて安定感と倒  
れにくさを調節）とやわらかいゴムのボール。  
倒したピンの数がポイントとなる。シンプル  
だけど思わず夢中になるゲームだ。



ストライク!!

◀両サイドにロープを置いて、レーンの幅を決めよう。  
ロープから外に出たらガーターだ。

### 「スーパーカブになりました」

2003年4月20日 村田 真翔

ぼくは、しかの時に「スーパーカブ」を知  
って、40個全て取得することを目標に決め  
ました。

それまでは、得意な事しかやっていなかっ  
たけど、色々なことにチャレンジしていっ  
たら、カブの活動も楽しくなっていました。

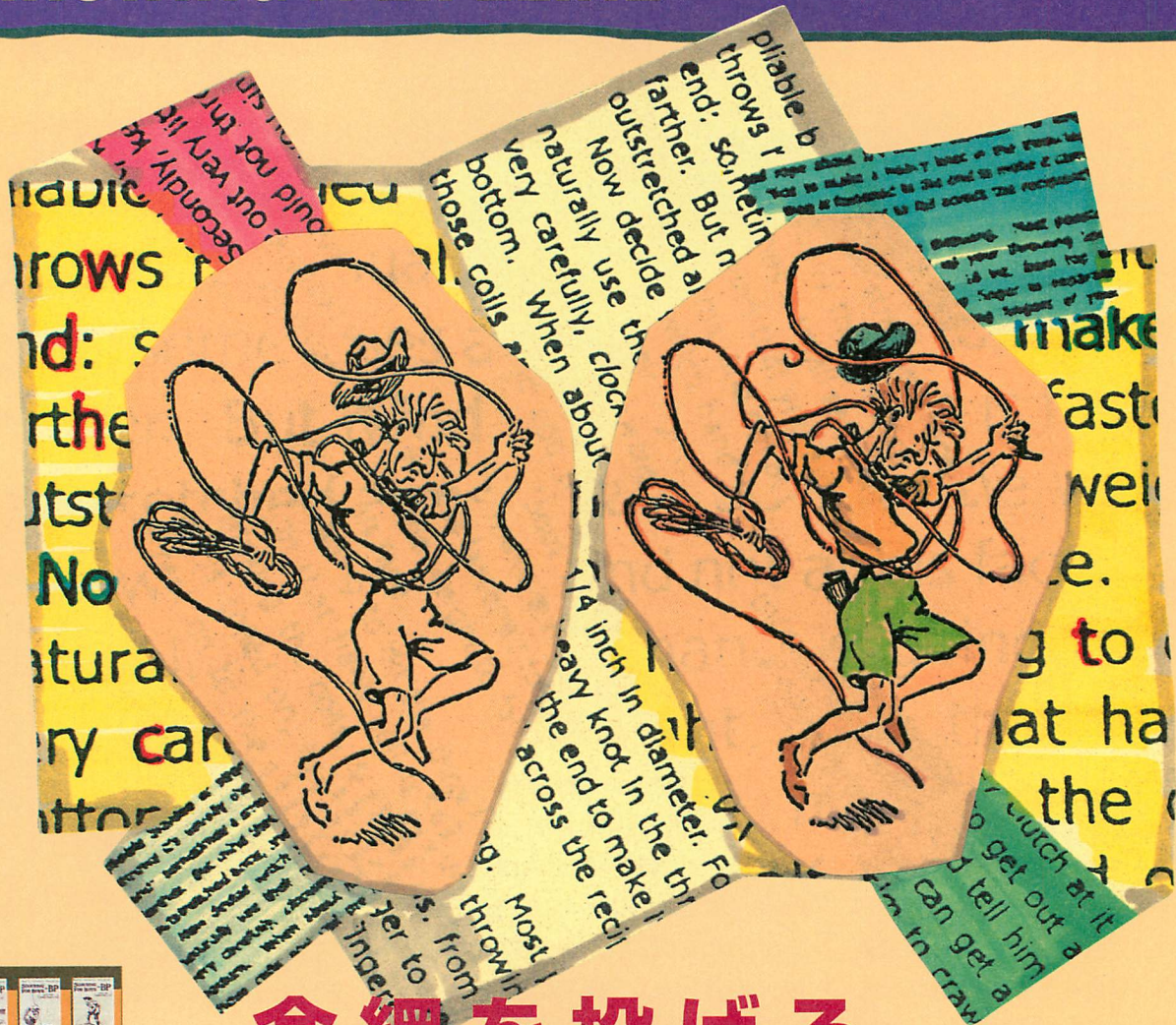
調べてまとめることが大変だったけど、活  
動はほとんど休まなかったんで、隊長や副長  
にたくさん教わりました。

父には何度も魚釣りに連れて行ってもらっ  
たし、工作も手伝ってもらいました。

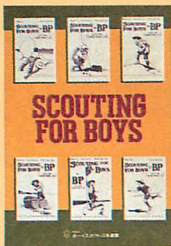
母には、図書館で資料を探すのを手伝っ  
てもらったし、スケートに何度も連れて行っ  
てもらいました。

みんなに協力してもらったおかげで、スー  
パーカブになれました。本当にありがとうご  
ざいました。これからも新しい事にどんどん  
チャレンジしていきたいと思っています。

# THROWING A LIFELINE



## 命綱を投げる



ここで紹介したお話しは「スカウティングフォアボーイズ」に掲載されているものです。(日本語版 379頁)

このような緊急な場面に遭遇した時、スカウトとしてどのような心構えが必要か、話し合ってみよう。

### まちがいさがし

上のイラストの左側の人物は「命綱を自分の体からまなまいように上手に投げるには練習がいる」ことを示すためにB-Pが描いたものだ。これを原画として着色したのが右側のイラストだが、その際5か所の間違いを犯してしまった。全て見つけてほしい。

溺れた人を救う時に、飛び込んで2人とも引き上げられるようなことになるより、その人の手の届くところにロープを投げてやる方がずっと実際は役に立つ場合が多い。

投げたり引き寄せたりするのにちょうど良い綱の長さは42フィートだ。もし特別に投げ綱を作ろうとするなら、直径1/4インチくらいの上質の、しなやかな編んだロープか、よったロープを使わなければいけない。遠くへ届かせるには、ロープの先に重い結び目を作るのが普通のやり方だ。

さて、どちらの手でロープを投げるか決めなければならない。たいていの人は、もちろん右手を使う。その方の手に、投げ綱を例えば上下の幅18インチくらいの輪にして、丁寧に時計回りに巻いていく。半分ほど巻いたら、指を1本立てて仕切り、あとは残りの指にかけて巻く。

ロープを巻き終わったら、左手の中指以下

の3本の指でロープの端をしっかり握るか、なお確かにするには、端に手首がちょうど入る輪を作って、投げた時ロープが抜けないようにする。次にあとで巻いた半分の輪を、右手から左手の親指と人差し指で持ち替える。これで両手にそれぞれ輪を持っていることになる。

右手の輪をまず投げ、その後すぐに左手の輪を投げるのだが、綱の端を手から離してはいけない。このようにして投げると、綱はもつれないし、全部の綱をまっすぐに投げられるから、一番遠くまで届く。1つの輪にして投げると、たいていは輪がうまくほぐれないので、その結果遠くへ届かない。

投げ方は下手投げでも上手投げでも構わない。上手投げの方が良いやり方で、ことに土手や壁のような障害物の向こうに投げる時や火事の時、上の階にいる人に向かって投げる時には、まずこれでなければうまくいかない。

隊長への手紙 信仰心を育むために No.29

# いのちの生命にめざめよう

宗教関係代表者会議構成員 土山和雅

昨年、山口県長門市仙崎で、金子みすゞさんの詩に出逢いました。

朝あさ焼やけ小こ焼やけだ 大漁だいりくだ  
大羽おおばい鰻わしの 大漁だいりくだ  
濱はまは祭まつりの やうだけど  
海うみの中なかでは 何なん萬まんの  
鰻いわしのとむらひ するだろ

あまりにも衝撃的で言葉も出ませんでした。

お釈迦様は、「生きとし生けるすべての生命は尊い。この世界に生きるすべてのものの生命を尊ばねばならない。すべての生命が幸せに生きている世界にしなければならぬ」とお示しくださっています。

しかし現実の私たちは毎日の生活の中で絶えず生命にかかわってしながら、生命の尊さに気づかずむしろ粗末にしていることが多いことです。生命の尊さに気づかせていただくために、日常家族で行われている挨拶を見直すことから始めてみませんか。「おはようございます」「いただきます」「ごちそうさまでした」「いってきます」「いってらっしゃい」「ただいま」「おかえりなさい」「おやすみなさい」。「挨拶」は心を開く、「挨拶」は心ふれ合う。家族の絆を深める心の実践とも言えます。

特にこの中で「いただきます」は何をいただくのでしょうか。食卓に乗っている米粒1つ、菜っぱ1枚、鰻1匹にも、すべて生命があることに気づいているでしょうか。「あなたの生命をいただいて私の生命をつなげさせていただきます」。粗末にはできません…。

「ご馳走さまでした」。「馳」は天をかける、「走」は地を走る。私の生命をつなげてくれるために、目に見えない多くの生命や多くの働きが天をかけ、地を走って、目前に集まってくれました。言葉に表せない感謝の気持ちだけです。「いただきます」「ごちそうさまでした」毎回合掌することは当たり前なのですが…。

生きとし生けるすべての生命によって支えられている私の生命。粗末にしてよい生命はひとつもないことに気づかせていただきましょう。ましてや、自然の営みの中にスカウティングは存在しているのですから！

## 私のおすすめの一冊



### 「阪神ファンと仏の心」

ひろさちや 著 小学館文庫 495円(税別)

宗教を違った角度から見つめ、わかりやすく書いています。作者は宗教的心の糧としては最適の書を多数著述なさっています。

## 「隊長への手紙」スカウトタウンに活用



「スカウティング」に毎月掲載されている信仰奨励の頁。集会の折りにスカウトたちに読み聞かせている団もあるようです。内容も明快でわかりやすく、分量的にも適当で、スカウトたちにとってちょうど良いのではないのでしょうか。心を落ち着けてじっくりと話を聞き、感想を述べ合ったりしているそうです。野外で元気に走り回るのもスカウティングなら、こうして自分の内面を見つめ直すのもスカウティングです。指導者がおだやかな気持ちで朗読を始めると、スカウトたちも自然と耳を傾けてくれます。短い時間ですが、彼らの成長に役立つ貴重な経験となるはずですよ。



写真は、鳥取第2回BS隊の集会の様子。スカウトタウンの時間に指導者がこの頁に掲載された文章を読み上げ、スカウトたちと小さなディスカッションが展開されました。

# 指導者向けスキルアップのための集会

## 若い世代の意見・要望を具体的な形に **岩手**



「日本ボーイスカウト岩手連盟野営法研究集会」というのがこの催しの正式名称です。

参加者の中には、数人のベンチャースカウトもいました。彼らのこの研究集会への参加の動機のひとつに、「自分が取り組んでいるプロジェクトのレベルを上げるため」というものがありました。各々のプロジェクトで最終的に目指すものは違っても、基礎となるスカウトスキルを身につけておきたいということは共通しているようです。



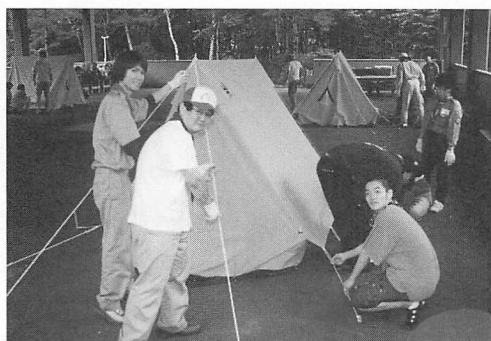
この野営場は、今秋以降に開催を計画しているラリーやキャンプ大会の候補地にもなっています。今回の集会には県内各地から指導者が集まり、その下見をするという目的もあったそうです。逆の発想をすれば、そういった別の用事で指導者が集まる機会に、スキルアップのミニ勉強会的なプログラムを加えるのも良いかもしれません。



楽しそうに集会に参加する人々。知識や技術を得る喜びは、子どもも大人も同じです。参加者がしっかりと目的意識を持っているので、密度の濃い集会となりました。

野外活動のスキルについて話題になることが多いようです。活動のフィールドを広げ、より奥深い領域へ進むことで、スカウティングの楽しさ、充実感が増大していくことは確かです。この運動に指導者として関わる以上、あるいは、スカウトたちの「冒険したい！挑戦したい！」というニーズに応えるために自分のスキルのレベルを上げたいという考えは、多くの指導者が共有しています。そして、それがなかなか実現できないという状況も全国どこへ行っても同じようです。スキルアップがしたくてもできないという悩みは、この運動のほとんどの関係者が持っています。

このような状況の中、「基本に戻ってスカウトスキルの大切さを見直そう」という動きが、あちらこちらから発生してきました。今回紹介する岩手の事例もそのひとつです。去



る7月5日～6日、花巻野外活動センターにおいて、指導者のスキルアップを目的にした技能研究集会が催されました。県内からおよそ50人の指導者が集まり、ロープワークの基礎からテントの設営、パイオニアリング等、厳しく、そして楽しい訓練を経験しました。

### 実際にやってみることが大切

「昔はできたはずなのに…」「最近やってないからなあ…」スカウトスキルは、くり返し練習することで身につけるものです。しばらく機会がないと、手順を忘れてしまったりして自信を喪失してしまう人もいます。

日常の活動の忙しさの中でこうした自らの技能を再点検する時間をとるのは、困難かもしれません。そういう意味でこの県連盟が主催する試みは、「ヒット」と言えるでしょう。この集会を開催するきっかけとなったのは、若い世代からの強い要望もあったようです。

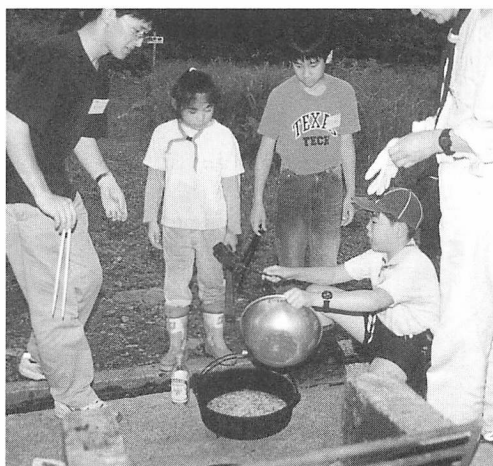
例えば今回、野外料理の訓練には「ダッチオープン」での調理に挑戦しました。巷で静かなブームになっている調理器具です。かなりの重量があることもあり、スカウト活動の場面では、どちらかという「携行に不向き」と敬遠されています。しかし若い世代の中に



は、「ボーイスカウトではこれは使う、それは使わない、このやり方以外は認めない…」というやり方ではなく、「話題になっている道具、興味をひかれるやり方には、まず挑戦してみたい。その上でよし悪しは自分で判断したい」という希望がありました。もちろん若者だけではなく経験豊富な人々の中にも、常に新しい物事に挑戦し、開拓していくことに賛同する人はたくさんいます。

## 好きだからこそスキルアップしたい

「みんなこの運動が大好きだし、研究熱心なんですよ。若手もベテランも競い合っただけでスキルアップすれば、運動の発展にもつながるでしょう」とは、ある参加者のコメントです。また別の参加者は、『スカウティング』で報告されることについて、「自己研鑽に真剣に取り組みたいと考えている人に刺激となれば良いのでは…」と話してくれました。

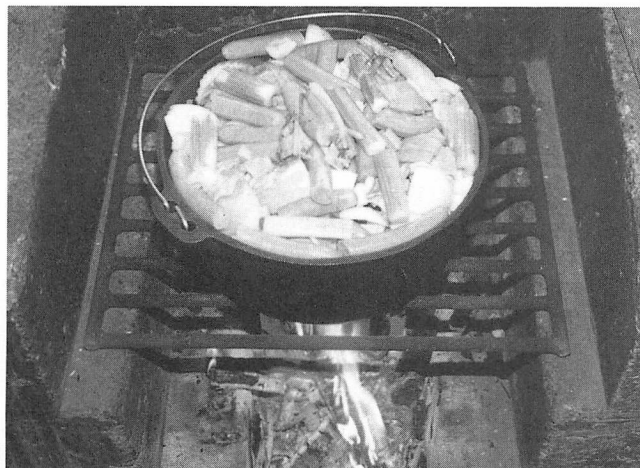
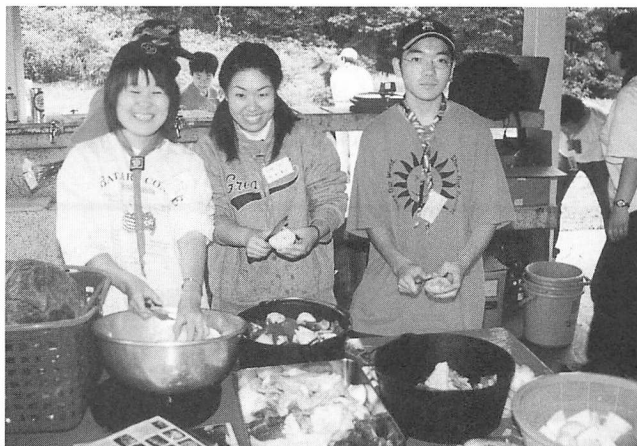


「国際的なキャンプ大会で恥をかきたくない。『日本の指導者のレベルは低い』と思われるのは嫌だから…」という参加者もいました。自分自身のスカウトスキルのレベルを測ることは難しいかもしれませんが、「私のスキルは世界で通用しますよ」と自信たっぷりに話す人にもなかなかお目にかかれませんが、スキルの高さが必ずしも指導者を評価する物差しではありませんが、ある種の危機感を持ってスキルアップを図りたいと考えている人は多いようです。

◀カブ・ビーバーたちも飛び入り参加。「だし巻き卵」完成。おいしそうにできてとても満足です。

# ダッチオーブンを使った野外料理に挑戦

ボーイスカウトの野外料理では、ダッチオーブンはほとんど使われていません。指導者の中には愛好家もいるようですが、キャンプで使う調理器具としては主流ではありません。今回初めてダッチオーブンに挑戦するという参加者もいました。長所・短所を見極め、今後の活動への可能性を探ることを目的に、調理は進みました。扱いになれていない人がほとんどでしたので多少のとまどいはあったようですが、概ね感想としては「思ったより扱いが簡単でおいしくできる」といったところでした。できあがった料理を食べながら、もしもスカウトたちがキャンプで使用することになれば…と想定した議論が盛り上がっていました。

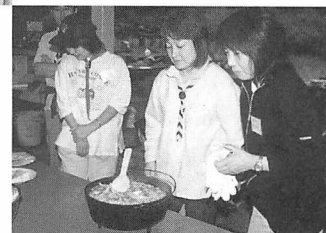


▲「ローストチキン」の材料の鶏も野菜もダイナミックに。丸ごと、または2分の1程度でゴロゴロと。

▼「ジャンバラヤ」はご飯も鶏肉もハムも野菜も、絶妙の仕上がりに。味も最高でした。

▲ふたの上に熱源となる炭を乗せる。全体に具合良く熱が通る。

◀火にかけた直後の「ポトフ」。撮影後すぐふたをしました。



# 平成14年度アジア太平洋提携プロジェクト(バングラデシュ)派遣報告 PART2

今回のプロジェクト地はベンガル湾沿いにあるバルグナ地方である。2月23日(日)18時にダッカ港を出航、13時間かけバルグナ港に到着した。船から荷物を降ろして車に積み込み、近くの食堂で朝食をとり、活動地に向かった。



## 新5か年プロジェクトの開始

派遣団長 郷家智道(日本連盟評議員)



### プロジェクトエリアとグループ

- バルグナ・サダル地区  
ウルグニア、アカリタトリ、アムタリ
- アムタリ地区  
チョオトバギ、カンダンタラ、モウパラ
- 参加者  
日本派遣団員 17人  
地元ローバーとスカウト 180人  
リーダーと地区役員 25人

ヘルスワーカー	24人
ダッカローバースカウト	3人
ワークキャンプスタッフ	11人
合計	260人

### 活動概要

- 村落の世帯調査。
- 150個のトイレを設置。
- 1,200個の季節に合う種を配布。
- ゴミ処理に適したゴミ箱を設置。

プロジェクトの柱であるPHC(プライマリーヘルスケア)とは、「人それぞれが自分の健康を主体的に考え、守れるシステムを確立する取り組み」です。

### ある派遣員の1日

愛知・名古屋第79団RS 尾関正浩

6時に起きて6時半に朝礼。7時に朝ご飯を食べて7時半に川の向こう側の村に向けて出発。川を渡るにはモーターのついた船に乗る。川の水は茶色く濁っている。さすがヒマラヤ、チベット、インド等広い地域の川の水を集めた川だけある。

村につくと、バングラデシュローバー、スカウト、ヘルスワーカーが10人前後のグループを作っている。ぼくたちはそのグループに1人で入り、村の各家庭を目指して出発。その日に決められた項目で、保健衛生の知識をメッセージにして村人ひとりひとりに伝える。9時に出発して昼の1時まで。バングラデシュの太陽の下での体力勝負な毎日だ。

今日はPHCの3日目。バングラデシュ派遣は今年初めて参加する。PHC活動をやってみて、まず辛かったのはコミュニケーション。話には聞いていたが、バングラデシュ人10数人の中に日本人が1人で入って活動するということは、簡単なものではない。自分の要望もなかなか現地ローバーやリーダーに伝わらず苦労した。特に初日の最初1~2件は、本当についてい

くだけで精一杯。焦って何度も何度もお願いして、やっと自分のやりたいことがやれるようになった。しかし、しかし、今日は何だか調子が良い。言葉の壁を乗り越えるため、紙に英文を書いたりしたおかげですいぶんスムーズに交流できるようになってきた。また英語力に長けた現地ローバーやリーダーのときには、日常のこと等たくさんの会話を楽しむことができとても充実してきた。現地スカウトもベンガル語を使ったり日本の歌を歌ったりすると、非常に喜んでくれる。

村々では不衛生な生活をしている。井戸水は黄色く濁り、あたりには家畜の糞が落ちていて裸足で生活している。各家々の前にあるきれいとは言えない池の水を浴び…と、例を挙げればきりが無い。しかしみんなとても明るく、温かい人たち…。





- 移動できるゴミ箱を各学校に12個設置。
- ORS、LGS、ORTの使い方の説明と実演。
- 9,500個のORSを各家庭に配布。
- エコノミック・オープンを60個作り、配布するよう用意。
- 甲状腺腫予防のため、食塩にヨウ素が入っているかどうかの検査を行い、ヨウ素含有塩600kgを各戸に配布。
- 栄養物、ORT、LGSについて理解の確認。
  - ・呼吸器疾患について、母と子の健康、口腔と身体の衛生等の衛生教育
  - ・キッチンガーデン、植樹等を実施
  - ・ビタミンA、レプラ（ハンセン病）予防接種、幼児の栄養バランスについての啓蒙
  - ・エコノミックオープン、安全な水の作り方、乳児の離乳食、母親の母乳育児についての説明
  - ・砒素についての説明
  - ・ゴミについての説明
- 住民にポスター、リーフレット、ブックレット、パタパタめくる本、健康についての宣伝ビラ等を配布するとともに、母と子の健康と他の健康について関連のあるパンフレットを配布。
- 小さな手織り機を用いて袋物を織っている仏教徒の集落を訪問し、仏教寺院を見学、住民と交流。
- 健康と自然環境をテーマに町内を回り行進し、ブリキで作った名札を木に吊した。
- ワークキャンプ終了後、毎日ローバースカウトたちと一緒にゲームをして楽しんだ。
- 日本派遣団がローバーナイトを開催して交流を深め、また地元指導者に感謝のディナーを開催し、楽しく歓談した。
- 0～1歳、1～2歳、2～3歳を3グループに分け、ベビーショーという健康優良児審査会を開催。200人の参加より67人の優良児を選考し、賞品を授与した。日本派遣団からも賞品を出した。

- 宿泊所の隣の健康センターと川向こうの活動地の学校内2か所に診療所を開設し、各2人の医師により、軽い疾患の治療を行った。遠くから来た人もいて、アムタリ地区1か所で、男性315人、女性820人、乳幼児233人の患者があった。
- ヘルスワーカーは、両国連盟の健康について資料を展示した。
- 予防接種は、BCG7人、3種混合ワクチン（ジフテリア、百日咳、破傷風）15人、ポリオ15人と女性124人にツベルクリンを実施した。
- 船と車で3時間、ベンガル湾の突端にあるサキナ海岸にスカウトビーチを開き、自然森林と魚類と動物を保護するという彫刻をした記念碑を建てた。また、アムタリラパジラ地方のタルタリの植物を確認した。

## まとめ

今までプロジェクトを5か年間実施し成果を挙げたORTを含め、プライマリーヘルスケアと新たな課題の自然保護活動を組み入れて新プロジェクトを展開した。このことは、両国ローバースカウトにとって国際友情と国際協力が実感でき、非常に効果的であった。始まったばかりの自然保護は、世界的な課題でもある。新プロジェクトを進めるには、日本のローバースカウトが研究とアイデアで先に立ち、皆を引っ張って行ってほしい。そのためには、この活動を全国のローバースカウトに知ってもらい、参加者が一層増えることが期待される。



派遣に関するお問い合わせ・ご意見・ご質問は…

- E-mail [bangladesh@scoutnet.or.jp](mailto:bangladesh@scoutnet.or.jp)
- ホームページ <http://www.rovernet.jp/bangladesh/>

今回の宿泊地は、アムタリのバギール・ハット・ハイスクールの教室だった。この地は電気も電話もない。教室の3部屋はローバースカウトの宿泊室に、我々指導者は教務室の半分を片づけて、簡易ベッドに蚊帳を頭部の方だけ吊し、足下はベッドにつけた斜めの状態で寝た。蚊帳は窓の枠と反対側の枠をロープで結び、それに1人用の蚊帳を吊して寝た。

### Bangladesh Scout Association and Friends

今回は訪問する時間がなく、Bangladesh Scout Associationの主任医師がおいでになり、Bangladesh Scout Associationの保健衛生について解説された。子どもの下痢について、我々のORT活動が評価された。また、HIV/エイズ感染について、世界的、アジア的な説明がなされた。

### Project Report Review Meeting Report from the Japan Scout Association

- ・プロジェクトを一緒に行うダッカのローバーや地元のローバーには、プロジェクト内容へのさらなる理解と他のスカウトに対しての指導性がほしい。
- ・ワークキャンプ中の居住や食事については、やや満足ができた。しかし、両国が短期間の連絡でワークキャンプを実施するのは問題が多いため、次回は早期に計画し、次のワークキャンプまでにはしっかりと連絡し合い、情報を取り合って、ベストな状態で活動できるよう計画表を作って進めていきたい。
- ・今回は2日間にわたって、自然環境のプロジェクトを実施した。説明と実験をして考えられたことを踏まえて、その中から目的と課題を十分に見極めて実施展開していかなければならない。

# INFORMATION

AUGUST  
2003

## 日本連盟からのお知らせ

### 来夏開催される 第6回ベンチャースカウト大会 (6NV) シンボルマークの募集

第6回ベンチャースカウト大会 (6NV) は、来夏に関東ブロック1都7県を会場として開催されることとなりました。ベンチャースカウトひとりひとりの成長と、大会の開催を通じてベンチャースカウト活動の一層の進展を図ることを目的に開催されます。この大会にふさわしく、また参加スカウトにも親しまれるシンボルマークを募集します。スカウト関係者以外の方も、ふるってご応募ください。

- 形状 ・縦8cm×横9cm以内  
・大きさ・形は自由  
・色は4色以内
- 締切 平成2003年8月末日  
(必ず郵送、当日消印有効)
- 送り先 〒181-0015  
東京都三鷹市大沢4-11-10  
財団法人ボーイスカウト日本連盟  
事務局「6NVシンボルマーク」係
- 審査 6NV実行委員会
- 発表 「スカウティング」誌  
2004年1月号に掲載
- 表彰 入選 1点 賞状・副賞  
佳作 1点 賞状・記念品
- 備考 ①シンボルマークは一部修正して  
使用することがあります。  
②応募作品は、1点ごとに郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・職業(スカウト関係者は所属団・隊・級・役務)を明記してください。  
③応募作品はお返ししません。  
④入選作品の著作権は、財団法人ボーイスカウト日本連盟に帰属します。

### 渡邊昭長老に感謝の盾

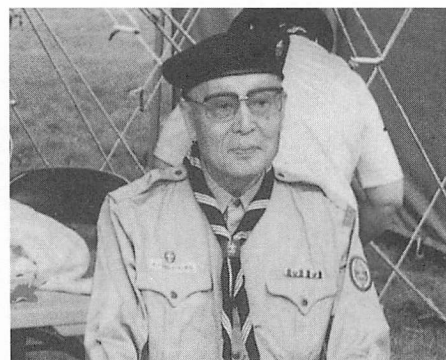
ボーイスカウト日本連盟総長として29年の長きにわたり、全国スカウトの信望を一身に集めて総長職を務められた渡邊昭前総長に、去る5月群馬県前橋市で開催された中央審議会において、満場一致で「長老」の称号をお贈りすることとし、引き続き開催された全国会議で報告されました。

このほど佐波正一理事長から渡邊昭長老へ、「感謝の盾」が贈呈されました。日本のスカウト運動の象徴的存在として101歳まで総長としてその責務を果たされ、現在もお元気で、スカウト関係者一同、長老の一層の長寿を願うものであります。



### 訃報

ボーイスカウト日本連盟 櫻内義雄 理事(元衆議院議長)が、7月5日逝去されました(91歳)。心からご冥福をお祈り申し上げます。



【主なボーイスカウト経歴】  
昭和33年2月 ボーイスカウト日本連盟理事(昭和48年3月まで)  
昭和41年6月 ボーイスカウト振興国会議員懇談会 初代会長  
昭和48年4月 (財)ボーイスカウト日本連盟理事(現在まで)  
昭和59年4月 ボーイスカウト振興国会議員懇談会(平成2年12月、ボーイスカウト振興国会議員連盟と名称を変更)名誉会長(平成12年6月まで)  
昭和56年5月 (財)ボーイスカウト日本連盟功労章きじ章受章  
昭和61年3月 世界スカウト機構からブロンズ・ウルフ章受章

### ＝日本連盟80年史編纂にあたって＝ お手元の貴重な資料を ぜひご提供ください

財団法人ボーイスカウト日本連盟は1922年(大正11)4月13日創立以来、2002年(平成14)に80周年を迎えました。

これを機に、日本連盟では記念誌を作成することで特別委員会を設置し、記念誌編纂に向けて現在作業を進めております。記念誌は、日本連盟創設期から今日までの歩みを写真を中心に編纂する「目で見える80年史」と、創立50年の記念に発行された「日本ボーイスカウト運動史」の続編となる「続日本ボーイスカウト運動史」の2冊1セットで、平成16年度完成・販売の予定です。

つきましては、記念誌に掲載するための資料を広く全国各地からご提供いただきたいと思います。特に大正期から昭和20年頃の資料が不足しておりますので、各家庭に保存されている日本の少年団や台湾・中国東北部(満州国)・韓国等諸外国の少年団の写真や資料を広く全国から発掘し、記録に留めていきたいと考えています。

ご提供いただいた資料は複写等を行い、必ずお返しいたします。その中で記念誌に使用させていただいた資料についてはお名前を記念誌に記載し、ご厚情を銘記いたします。また、ご提供いただいた資料は日本連盟にて保管し、広く活用させていただきます。

■大正期～昭和25年頃までの国内および外国における少年団・スカウト活動の史料・写真・新聞および雑誌の掲載記事・文献等

■募集期間 8月～10月末日

■資料の送付先およびお問い合わせ

〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10

(財)ボーイスカウト日本連盟

総務グループ

TEL 0422-31-5161

FAX 0422-31-5162

E-mail soumu@scout.or.jp

## 発団おめでとう

新しく発団した、全国のスカウト仲間をご紹介します。

- 群馬・沼田第1団 BVS・CS・BS隊
- 愛媛・松山第3団 BVS隊

**ご支援ありがとうございます**

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の方々です。

**\*維持会員** (敬称略)

平成15年5月	【千葉】 中川 義夫	【岐阜】 新本 宣威
【北海道】	【神奈川】 柴田 直孝	【三重】 長井 英雄
【秋田】	【東京】 堂垣内 尚弘	【京都】 種子田 隆男
B S 秋田 19	【長野】 藤田 正吾	【福岡】 中井 敬二
【長野】 笹屋 洋太郎	【長野】 塩崎 親宏	【日本連盟】 生田 和嘉子
佐々木 耕二	酒井 博	【河合楽器製作所】
淡路 定明		

**都道府県連盟だより**

**北海道** 北海道内の夏に情報がいろいろ入ってきています。そんな中で目についたのが、8月9日(土)～10日(日)に予定している「有珠山噴火で被災した地元小学生と保護者、そしてボーイスカウトの1泊キャンプ」です。記念植樹等も実施されます。場所は蛇田町洞爺湖の周辺です。

**青森** 青森では、ウッドバッジ研修所を9月12日(金)～15日(月)の日程で実施する予定です。多数の参加を期待しています。

**福島** 『スカウティング』8月号が読者の皆さんのお手元に届く頃、福島ではちょうど県のキャンプ大会の開催中です。8月1日(金)～4日(月)が会期です。

**新潟** 9月7日(日)に県内悠久山公園においてカブ・ビーバーラリーを開催します。楽しいプログラムがたくさん用意されていますので、どうぞご期待ください。

**岐阜** この夏、岐阜のスカウトが渡英します。英国ウインザーで開催される「WINGS 2003」出発へ向けて、いよいよカウントダウンが始まりました。岐阜県連盟初の単独海外派遣事業。幾多の困難がありましたが、いざ参加に向けてTake off! 詳しくは下記のホームページを参照してください(上から主催、岐阜県連盟、美濃加茂第1団)。

- <http://www.wings2003.org.uk>
- <http://www6.ocn.ne.jp/~bsgifu/>
- <http://www.medaka.com/scout/>

**栃木** 10月19日(日)、今市市の青少年スポーツセンター運動ひろばにおいて、毎年恒例のカブラリーが開催されます。カブとビーバーが参加対象。ボーイは運営のお手伝いをするようになっていきます。

**埼玉** 埼玉県連盟が誕生したのは、1959年の8月31日のことでした。それから44年にわたりスカウティングの歴史を刻んできました。これからも頑張ります。

**長野** 長野ではこの夏、外国スカウトのホームステイ受け入れ等、国際交流の話題で盛り上がっています。機会があれば、その様子も報告したいと思います。

**山口** 山口では、夏休み期間は大きな県連盟の大会・行事はありません。9月15日(月・祝)の「スカウトの日」に向けて、各団でカントリー大作戦の準備を進めています。

**石川** 9NAの最後の夜、8月3日(日)の石川の夕べは、我が県連盟の腕の見せどころです。スカウトたちに楽しい思い出を持って帰ってほしいと思います。

**福井** 来年の1月、ガールスカウトや子ども会等、他の青少年団体とのネットワークにより、合同の「雪中キャンプ」を計画中です。まだプロジェクトは始まったばかり、今後協議を重ねていく予定です。

**滋賀** 今夏の滋賀連盟夏季野営大会は、8月1日(金)～3日(日)・小豆が浜野営場(湖東地区)、8月2日(土)～4日(月)・浅柄野営場(湖南地区)、各団でそれぞれ実施(湖西地区)。スカウト・指導者とも、日頃の活動の成果を発揮すべく、準備を進めています。

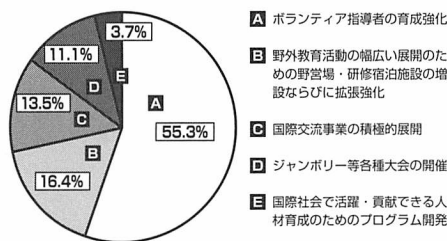
**京都** 8月10日(日)～14日(木)に「ベンチャースカウト大会」を開催します。琵琶湖1周サイクリング、カヌー、アーチェリー、およびオリエンテーリング等を技能章の修得を目的に活動基地ごとに実施し、その後花背山の家に集結してフォーラムを行います。また、京都市が主催する「世界の京都・まちの美化市民総行動」が9月21日(日)に開催されます。国際観光都市京都をさらに美しくするため京都市民が集まり、啓発活動を行います。ボーイスカウトもその中核になり参加します。

**大分** ガールスカウトとの合同野営大会を、8月2日(土)～5日(火)の日程で野津原町平成森林公園のキャンプ場において開催します。また同野営大会の中で、8月3日(日)に現連盟長である平松守彦(前大分県知事)の退任式を行います。9月15日(月・祝)には、広瀬勝貞新連盟長(現大分県知事)の推戴式を行います。

**熊本** 「2003スカウトキャンポリー in にしき」が、この夏の熊本最大の野営大会です。7月31日(木)～8月3日(日)の日程です。『スカウティング』8月号がお手元に届く頃には、もう開会しているかもしれません。会場は球磨郡錦町一武くらんど公園です。テーマは「甞れ武士道」。

**維持資金寄附金の活用内容**

会員の皆様からお寄せいただきましたご厚志(平成14年度維持資金寄附金42,232,390円)は、青少年健全育成のために活用させていただきます。



**スカウト運動を応援して下さる方々**

スカウト運動に深いご理解を寄せられ、一定額のご厚志を賜りました。心から感謝いたします。(H15.3.末現在/敬称略)

- 納入いただいた維持会費の累計が500万円以上に達し、感謝状を贈る法人維持会員  
岡谷不動産株式会社(愛知)
- 納入いただいた維持会費の累計が100万円以上に達し、感謝状と特別維持会員盾を贈る特別維持会員  
松尾宗明(東京) 杉原 正(日本連盟)  
刈谷市スカウト育成連絡協議会(愛知)
- 納入いただいた維持会費の累計が100万円以上に達し、感謝状と特別維持会員盾を贈る通常維持会員  
大島 洋(日本連盟)
- 納入いただいた維持会費の累計が50万円以上に達し、金色維持会員章を贈る通常維持会員  
郷家智道(宮城) 武井正光(神奈川)  
田口榮三(東京) 宇野真之(愛知)  
北川吉久(愛知) 浅井裕己(愛知)  
松平頼武(香川)  
関彰商事株式会社(茨城)  
社団法人日本経済団体連合会(日本連盟)

**お詫びと訂正**

『スカウティング』7月号20頁「6NVシンボルマーク募集」、24頁「私たち、スカウト一家」にそれぞれ誤りがありました。お詫びをし、訂正いたします。

- 20頁 誤 関東ブロック1都6県を会場
- 正 関東ブロック1都7県を会場
- 25頁 誤 姫沼家。敏江(BVS隊隊長)
- 正 姫沼家。敏江(BVS隊副長)

# 情報コーナー

## 海外派遣員募集

### オーストラリアジャンボリー派遣

- 期間 平成15年12月28日(日)～平成16年1月17日(土) 21日間
- 場所 オーストラリア  
サウスオーストラリア州アデレード  
ウッドハウス・アクティビティーセンター
- 人員 スカウト18人 指導者2人  
計20人 (VS、RSも参加可能)
- 締切 平成15年8月25日

### 平成15年度アジア太平洋提携プロジェクト(バングラデシュ)派遣

- 期間 平成16年2月20日(金)～3月6日(土) 16日間
- 場所 バングラデシュ人民共和国  
ダッカおよびプロジェクト地
- 人員 RS18人 指導者2人 計20人
- 締切 平成15年10月10日

### 第12回世界スカウトムート国際サービsteam員(IST)派遣

- 期間 平成16年7月26日(月)～8月12日(木) 18日間
- 場所 中国(台湾) 台北および周辺都市
- 人員 特に定めない
- 締切 平成15年8月20日

### 第12回世界スカウトムート派遣

- 期間 平成16年7月29日(木)～8月12日(土) 15日間
- 場所 中国(台湾) 台北および周辺都市
- 人員 RS36人 指導者4人 計40人
- 締切 平成16年1月10日

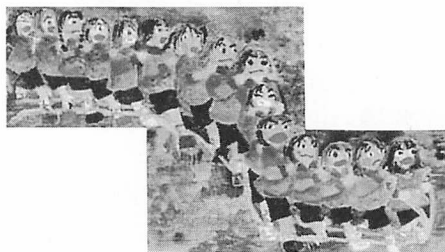
※申込締切日は、県連盟から日本連盟への締切日です。各県連盟での締切日はそれぞれの県連盟へお問い合わせください。

※応募資格等詳しくは日本連盟のホームページを参照してください。



## かまぼこ板をキャンバスに 第11回かまぼこ板絵国際コンクール 小さな美術展

- 応募資格 ジュニアの部(中学生以下)  
一般の部(高校生以上)
  - 応募点数 1人1点  
(応募作品全点展示のため)
  - 材 料 かまぼこ板をよく洗浄し、乾燥させて使用。
  - 技 法 油彩、水彩、アクリル絵の具、墨、インク、色鉛筆、レリーフ、その他どんな技法も可。  
使用枚数は1枚または2枚までとし、組作品は十分に接着する。組み合わせ方は自由。
  - 応募方法 応募整理券にご記入のうえ、作品裏面にノリづけして郵送。  
団体応募の場合は団体応募用紙とあわせてまとめて郵送。
  - 応募締切 2003年8月31日(日) 必着
  - 発 表 10月上旬審査予定。結果は審査終了後郵送にて通知。
  - 作品展示 入賞・入選作品は2002年11月1日(土)～2004年1月4日(日)まで、鈴廣のかまぼこ博物館(神奈川・小田原)にて展示、また応募全作品を2004年1月中旬、新宿高島屋(東京)10階催事場にて展示。
- ※応募された作品は返却しません。  
※作品は将来建設予定の「小さな美術館」に永久収蔵し、公開展示します。著作権は小さな美術展実行委員会に帰属します。  
※入賞・入選作品には賞状ならびに賞品、応募者全員に記念品を進呈します。  
※作品には必ず応募整理券・団体応募用紙をご使用下さい。コピー可。  
※天地のわかりにくい作品は裏面に矢印をご記入ください。
- 応募・お問い合わせ  
〒250-8506 神奈川県小田原市風祭245  
TEL 0465-24-6216  
鈴廣かまぼこ内/小さな美術展実行委員会



## 普及資料の有効活用を ボイスカウト「ポスター」 「Q&A」「リーフレット」

ボイスカウト活動について、「一般の人々にも広く知ってもらおう」「理解を深めてもらおう」という目的で製作し、皆様のお手元に届けられているのが、『ポスター』『Q&A』『リーフレット』です。デザインも新しくなり、とても見やすく楽しい内容になったと好評をいただいております。体験入隊イベント等でご活用ください。

## 9NA参加スカウト “We can”体験 作文と図画を募集します!

石川県珠洲市で開催されている第9回日本アグーナリーの参加体験を綴った作文を大募集します。「こんなプログラムに挑戦した」「こうやって目標を達成した」という、大会を通して得たものを自分の言葉で表現してください。また、文章よりも絵が得意だというスカウトは、思い出を絵に描いて送ってください。紙のサイズや色材、表現方法は自由です。グループでの製作も歓迎。優れた作品は、『スカウティング』誌上で紹介します。

## 言葉の壁は乗り越えた!? 笑い涙がいっぱいの 国際交流の思い出

国際的な大会に参加したり、ホームステイを体験したスカウトの皆さん、国際交流の思い出をぜひ聞かせてください。外国スカウトと深めた友情について、身振りや手振りでお話したこと、文化や習慣の違いにとまどったこと等…。苦い体験、楽しい思い出、どんな内容でもOKです。600字程度の文章に、写真を添えてお送りください。これから国際交流の行事等に参加を予定しているスカウトの準備についての作文も歓迎します。

## 『スカウティング』を読んで あなたのご感想・ご意見を 聞かせてください

ボーイスカウト日本連盟の機関誌として加盟員の皆さんにお読みいただいている『スカウティング』をさらに内容を充実させ、進化させたいと考えています。

読者の皆さんにも常にオープンな姿勢を心がけ、これまでも投稿という形式で、活動報告や運動に対するご意見をいただき、記事作りに反映させてきました。「役に立った記事」「活動のヒントになった記事」、逆に「わかりづらい」「不適切な内容だ」等、実際に本を手にとってご覧になった方のご感想やご意見は、非常に貴重なものと受け止めています。

『スカウティング』の誌面が充実するということは、この運動が活性化するという事です。これまでもコラム等で何度も繰り返してきましたが、『スカウティング』は加盟員みんなで作る機関誌です。そして同時にこの運動を社会にアピールしていく「顔」でもあります。運動に対する認知度を高め、理解を深めるためにも欠かせない存在です。

そのような観点から、厳しく、そして温かい眼で、お読みいただいた『スカウティング』に対する率直なご感想・ご意見をいただきたいと思ひます。下記の用紙をご利用になり、23頁の宛先へ郵送またはFAXしてください。

( 用紙は、団や地区での行事開催等の情報提供・活動報告にもご利用ください。 )

## ローバース会議(第5期)から

1993年バンコクで開催された第33回世界スカウト会議で「青年の意思決定への参画」が採択され、ユースプログラムの実践とユースの活性化がWOSM(世界スカウト機構)の重要課題として取り上げられました。この世界的潮流の中、日本連盟では「青年の参画」の反映と波及を考え、組織機構の設立やユースの活動を展開しやすくするための環境設定についての検討を、プログラム委員会を通じてローバース会議に託しました。ローバース会議の任務にある「平成16年度ユース委員会設立の準備」がこれです。

ローバース会議は、伊藤太一(東京)、市川靖弘(東京)、秋山善克(神奈川)、佐藤裕一(千葉)、高橋克広(埼玉)の5人で構成され、現在「ユース委員会設立」「ユースフォーラム開催準備」等について話し合っています。

ユース委員会設立の目的は、ユース年代の活性化、ユース年代のネットワークの構築、各種行事への参画、団・地区・県においてのユースプログラムの促進等です。ユースプログラムとはユースだけの活動ではなく、ユースと成人指導者が協力して活動を展開することだと考えます。我々はひらかれた会議を目指し、多くの意見を取り入れたいと思ひています。どうぞ皆様のご意見をお寄せください。

ローバース会議、ユース委員会、ユースフォーラム等に関してのご意見およびお問い合わせは、教育グループ青少年プログラム

チームまでお願いいたします。

■E-mail program@scout.or.jp



©DISNEY ENTERPRISES, INC.

### 制服を着て観にこう 映画「トレジャー・プラネット」 スカウト特別割引

ボーイスカウト日本連盟では、この夏全国上映されているディズニーの冒険映画「トレジャー・プラネット」を推薦しています。

全世界が愛した冒険小説「宝島」が発表されて120周年を記念して製作されたこの映画は、大宇宙に舞台を替え、冒険の旅に出る少年の活躍を描いたアニメの超大作です。

なお全国の劇場では、ボーイスカウトの制服を着用していくか、加盟登録証を提示することで、本人とその同伴者計4人まで(大人を含む)、300円の特別割引を実施しています。夢と感動がいっぱいのすばらしい作品です。ぜひ制服姿でご鑑賞ください。

※他の割引券と併用はできません。

※特別興行の際は適用されません。

宛先

〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10  
(財)ボーイスカウト日本連盟  
組織グループ 広報・国際渉外チーム  
FAX 0422-31-5162

## スカウティング 月号

印象に残った記事があればお知らせください。▶  
(良かった・悪かった・わかりづらい)  
(反論がある・質問がある 他)

印象に残った記事タイトル

印象に残った記事タイトル

所属・役務等

氏名

電話番号

FAX番号

E-mail

■宛先 FAX 0422-31-5162

意見・行事報告・活動紹介…etc.

# 読者のページ

## 毎年人気のボーイスカウト 運動公園を開放、一般市民と楽しく

千葉・船橋地区委員長 小澤公治



毎年行われている船橋市の青少年団体連絡協議会の行事に、今年も参加しました。市の教育委員会および生涯学習部青少年課が主催、ボーイスカウト船橋地区・ガールスカウト船橋連絡会、リトルリーグ・自転車少年団・海洋少年団・子ども会等々、20数団体の協賛で、運動公園全体を開放し、「ふれあいミニ動物園」「地震体験車」「はしご車」「けむり体験車」「体力検査」「ロープワーク」「冒険コーナー」「テニス」「野球」等、様々な体験を一般市民とともに楽しく過ごします。

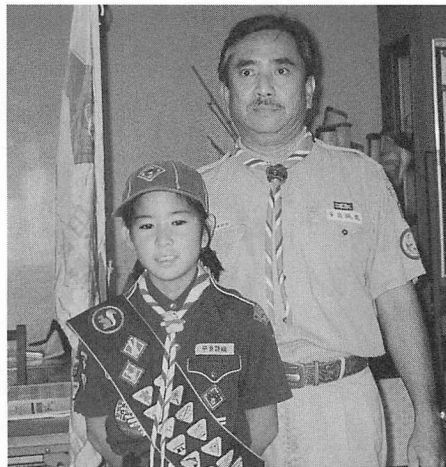
毎年ボーイスカウトコーナーは人気が高く、多くの少年少女が参加してくれます。さらに、国旗・市旗・大会旗の掲揚はボーイスカウトが担当します。

今年は天候も良く、全体では3,000人以上の参加があり、ボーイスカウトからは、船橋地区のビーバー・カブ・指導者等、約400人が参加しました。



## 沖縄初！スーパーカブ

沖縄・事務局長 渡口政明



本連盟で初の女子のスーパーカブが誕生しました。那覇第6団カブ隊の平良詩織さんで、日曜日の集会を1日も欠かすことなく活動に参加、その努力がついに実り、スーパーカブとして隊集会にて特別表彰を受けました。

本連盟では、女子のスーパーカブの誕生、昨年女子として初の富士スカウトが誕生したことで、皆大変喜んでます。

## 人格教育(心の教育)

ボーイスカウトから…

熊本・水俣第1団(団報より)

先日、ある広報誌に弁護士さんの文章が掲載されており、共感しましたので抜粋します。「子育ての目的は、今も昔も自立支援である。現代日本の最大の問題は子育ての目標を誤ってしまっていることではなからうか。知識をより多く身につけることが子育てや養育の目標だと誤解している。それが悪いわけではないが、知識を身につけたからといって自立心や責任感、他者を思いやる心が育つわけではない。自分を大切に、他者を大切に、人間性の教育を忘れれば、今の教育は昔の教育に劣ることになる」。

また、生き方についても「自分のため」、つまり自己実現に志向していると言っています。「趣味に生きるもよし、旅行もよし、おしゃれもよし、まずは世間の眼にとらわれない心構えを持つことが出発点となる。自分の方も、人の生き方についてとやかく言わず、その人らしく生きている人を誉める、そういう生き方をしていると、自然に人や地域社会に役立つ活動をしなくなるであろう。人から感謝されることは、生きがいの根源であり、

人生を心豊かで充実したものとする。～ボランティアにも期待したい。～人は、誰かと温かい心の交流を持ちながら人生をまっとうしたいのである」と書いてありました。

また、私の弟が名古屋で会社を経営しております。新入社員を採用するとき、同じ程度の成績なら最終的に「人柄」によって選考する、と話しています。家庭でも、学校でも、会社でも、社会でも、人と人との関係によって成り立っているということです。

この文章を見ながら、また弟の話聞きながら、ボーイスカウト運動は決して現代に合わないのではなく、現代の青少年にとって必要な活動であるということ、ボーイスカウト運動は、他の諸団体にはない「人格教育の団体」であることを再確認したわけです。社会人として歩む上で、ボーイスカウトで学んだことは決して役に立たないことではなく、むしろ多方面にわたって自分自身のプラスになるものです。親は子どもの将来のために、子どもは自分のために、目先の結果より、10年、20年先の結果を見ながら、長い目で見たスカウト活動でありたいと考えます。

## 5団タイムス創刊！

群馬・大田第5団事務局 天笠邦夫

当団ではこの度、スカウトの保護者に日頃のスカウトの活動の様子を紹介するとともに、より深くボーイスカウト運動への理解を深めてもらい、団の発展に協力していただくこと、団内の広報紙を発行しました。編集部を団関係者・スカウト・保護者の三者で構成し、特に保護者の方のスカウト活動に対する意見・批判を取り入れていきたいと思っています。当面隔月の発行ですが、月1回の発行を目指し、試行錯誤をくり返ししながら編集部一同頑張っています。





## スカウト像の除幕式

千葉・市原第1団



6月22日、千葉県・市原青少年会館において、ボーイスカウト市原第1団各隊スカウト・指導者・保護者が多数集まり、スカウト像の除幕式が行われました。1948年(昭和23)、当地において千葉県初の公認指導者講習会が開催されるなど、ボーイスカウト千葉県連盟結成ゆかりの地であることにちなみ、育成会の肝いりで団50周年記念事業の一環としてスカウト像が建立されました。

この日は梅雨の季節にもかかわらず、セレモニーにふさわしい好天に恵まれ、スカウトたちの手で紅白のロープが引かれ、くす玉が割れ、スカウト像がお披露目されました。像は彫塑家・畑満氏作の「未来を見つめ躍動する少年」をイメージしたもので、スカウト像を囲んでの記念撮影に感慨もひとしおです。

ゆかりの地の誇りとスカウト像に恥じない活動をしていくことを誓い、ジュースで乾杯をして除幕式を終えました。日頃、隊活動で頻りに利用させていただいている青少年会館ですが、青少年会館の玄関前という絶好の建立場所を提供いただきましたことについては、行政当局の全面的なご理解によるものです。

## スカウティングに日頃思うこと

石川・金沢第2団CS隊隊長 改田陽子

近年、スカウト人口が減少して…と言われている。その一番の原因は、リーダーのスカウトに対する子ども観だと思います。

ボーイスカウトに子どもを入れる保護者の方々に理由を聞いてみると、「ちゃんとしてほしいから」「ピシッとなるから」「ボーイスカウトに入れば、規律を守ってしっかりした子どもになるから」等の声がとても多いようです(私の見渡す範囲ですが)。では、「どうして、子どもはちゃんとしなければならないのですか?」「お母さん、あなたは規律を守っていますか?」と聞くと「? ? ?」。

リーダーを見てみると、「整列が遅い」「ちゃんと隊長の話を聞け」「だらしない」「もっとハキハキしろ」などと、スカウトを頭ごなしに怒鳴る方々がおられます。特に、「自分たちの頃はもっと厳しかった」と言われる方々。そして、リーダー間で話し合いをすれば、「あの子はいくら言っても言うことを聞きません。どうしたらいいんでしょう」とか、「あの子がいなければ組はまとまるんですがね」とか…。リーダー自ら「おきて」を守らないことが多いように思います。

ボーイスカウトは、いかなる子どもでも受け入れるところなのです。例えば身体が不自由でも、精神に異常があっても。しかし、目で見える、わかる子どもはちゃんと受け入れられるのですが、どうも心の病気、例えば、大人の言うことを聞けない、動作がゆっくり、人と交わることが苦手、人と同じことができない等々、一見普通に見える子どもには、とても厳しいのです。リーダーたちは、受け入れてもらえないことが多いのです、案外。

スポーツ少年団は勝敗があるので、勝つためには少々厳しくても監督に怒鳴られても、子どもは頑張ります。町内の子ども会は、楽しいとみんな集まってきます。しかし、ボーイスカウトがこれらと同じではスカウトは来ませんし、来ても目的は達成できません。勝ち負けを競うわけではないし、すぐに章がとれて新聞にでかかどと記事が載ることもありません。奉仕をして当たり前、しなければ「ボーイスカウトでしょ!」と言われる。



ボーイスカウトが目指すものは、人と人とのつながり、どんな性格の子どもでも入団してきたら温かく受け止め、その子のいいところをどんどん見つけて認めてあげることではないでしょうか。悪いところをつつくのではなく、手に負えない子どもに一言、いや、少しでも「もう、この子ったら…」と思っただらおしまいだと思います。まだまだ「子どものくせに」とか、「甘えすぎ」と言う大人が多すぎます。せめてボーイスカウトに携わっている大人はそのことに気づき、子どもと同じ

目線で、いや、それよりももっともっと低くなって、子どもをののしることのないように、子どもの心の叫びを聞ける大人になってほしいものです。

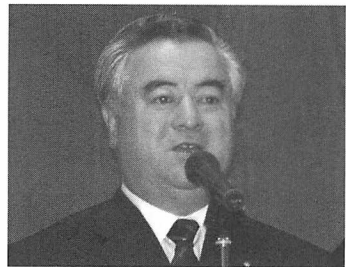
型にはまり、集団という単位で見られがち、思われがちなボーイスカウト。いいえ、そうではありません! ひとりひとり違うのです。「違って当たり前」ということを、もっともっとリーダーは熟知すべきだと思うのです。いったんリーダーと名がついたばかりにおごりたかぶってしまう大人たち。子どもには十分成長していく力があるのですから、成長を阻害する迷惑な大人にはなりたくないのです。スカウトから学ぶリーダーになりたいものです。そして、全員が「ちかい」を立てたときの最初の言葉を思い出し、実行していきたいものです。

## 県知事が名誉連盟長に就任

茨城県連盟理事長 佐野英樹

去る6月1日に開催された平成15年度茨城県連盟年次総会において、茨城県知事・橋本昌氏の名誉連盟長就任のセレモニーを行いました。連盟旗を先頭に、関連盟長の先導で多数のスカウトとともに、橋本茨城県知事が入場、理事長が就任までの経緯について報告をした後、礼装ブレザーの贈呈式を行いました。

代表スカウトの感謝の言葉「国のため、県のため、人のために奉仕したい。あたたかく、そして厳しく見守ってください」に感激した知事から、「未来を拓く若人こそ、今求められている人材であり、社会に役立つ人間として成長されるよう大いに期待する」旨の就任の挨拶をいただきました。



スカウトたちに激励の言葉を贈る  
橋本名誉連盟長





## 印象に残る楽しいプログラムの提供

東京・総武地区

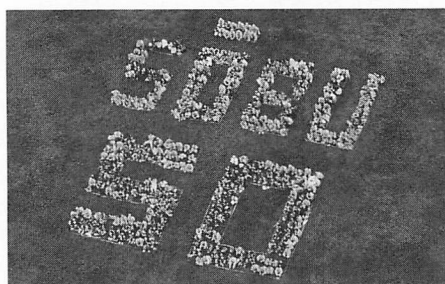
総武地区は1953年(昭和28)に江戸川地区として発足し、本年50周年を迎えました。これを記念して、去る5月3~5日(2泊3日)にかけて、東京湾観音 総武地区佐貫野営場(千葉県富津市)において地区キャンポリーを開催しました。ボーイ・ベンチャー・ローバーを中心に、300人のスカウト・スカウターが集い、「新たな50年に向かって」をテーマに様々なプログラムを実施しました。

今回は記念行事として、スカウトにいかにも楽しく友情を育み、印象に残るプログラムが提供できるかと、ボーイ・ベンチャー円卓会、地区ローバー会が検討を重ね、参加したスカウトが、「こんなに楽しいキャンポリーは初めてだ」と、笑顔一杯に帰路に着いたのが印象に残り、大成功であったと確信しました。

地区ラリーはビーバー・カブを対象に5月18日(日)、都立水元公園において開催しました。当日はスカウト・指導者はじめ600人の参加があり、「祝50周年SOBU」の人文

字空中写真撮影、FM葛飾の実況中継で始まりました。

ビーバーは「シュシュと参上、忍者でござる」(ルールを守って楽しく遊ぶ)をテーマに、8つのコーナーをフィールドラリー形式で回り、カブは「ボーイスカウトは楽しいぞ」(組活動を通じて協調性・ルールの大切さを知る)をテーマに、4つのコーナーをウォークラリー形式で回りました。広い会場をビーバー・カブが嬉々として動き回っており、楽しいプログラムを提供することで、友だちにもスカウト活動を誇れるようになるでしょう。



SCOUTING

No.603



財団法人  
ボーイスカウト日本連盟

あいことばは “We can”  
「急がない」「あせらない」

今月の「スカウティング」巻頭カラー頁に登場してくれたスカウトたちは、兵庫・尼崎第25団に所属する「障害児スカウト」です。同団は昨年、健常児とともに活動していた団から分封し、「障害児スカウト団」としてスタートしました。

障害児だけで活動することには賛否両論があります。「特別視するようで良くない。健常児と区別なく活動するのが望ましい」「同じ班のメンバーとして教えたり助けたりすることで、健常児も成長するのだ」という考え方は確かに存在します。しかし実際の活動の場面では、時間をかければできることでも、周囲のスピードについていけずその機会を失ってしまうこともあります。ここではみんながゆっくりなので、スカウトもその保護者も安心して活動できます。健常児団の中に入っていたときは、いつも我が子が「班の仲間に迷惑をかけるのでは」と心配だったとある保護者。

ベテランの指導者である同団の団委員長から「長年にわたってこの運動に関わり、発団も経験し、障害児ともいろいろな形で関わり、試行錯誤をくり返してきました。障害児だけの団というスタイルがベストかどうかはわかりませんが、ひとつの実験としてチャレンジし続けたい」とのコメントをいただきました。同団の存在と、スカウトたちの笑顔を「スカウティング」を通して、広く皆さんに知ってもらい、この運動の発展への願いをこめて、取材に協力していただきました。☑

スカウティング 2003年8月号

発行所 財団法人ボーイスカウト日本連盟  
編集責任者 事務局長 若山裕司  
編集企画 総務委員会 編集小委員会

〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10  
TEL 0422-31-5161  
FAX 0422-31-5162  
ホームページ <http://www.scout.or.jp/>  
E-mail [info@scout.or.jp](mailto:info@scout.or.jp)  
表紙モデル 谷川太地(京都・京都第80団VS)  
川口雅代(宮崎・宮崎第4団VS)

- ©財団法人ボーイスカウト日本連盟/本誌掲載の写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟 組織グループまでご連絡ください。
- 本誌のバックナンバーを希望されるときは、日本連盟 組織グループまでご注文ください。
- 環境保護のため、「スカウティング」は再生紙を使用しています。

# ドームテント

シンプルなフレーム構造でカンタン設営

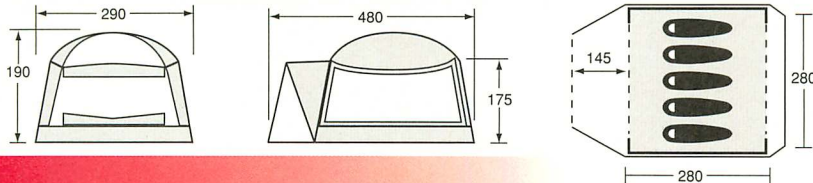
# スカウトショップNEWS

## ■スカウトドーム

-85137 ¥72,000

ドームテントの持つ最も基本的な構造・機能をよりシンプルに、より扱い易くまとめたスカウトドーム。

●前室は全面巻き上げが可能  
●通気性/換気効率を上げて、高い結露抑制性を得るため、内幕の前後面にはメッシュを、外幕前面には大型のスクリーン●ワイドな前室は荷物置き場としても有効●後面/後面にも出入口を装備。テント全体の換気効率を高める効果を発揮●雨風がテント内に侵入したり、泥が跳ね上がるのを防ぐ泥除けを全面に装備●フレームのプリベントにより天井の広い理想的な内部空間を実現/フレームの構造は、組み立てやすいクロスフレームとピン&リング方式を採用。内幕本体はフックによる吊り下げ式なので設営が簡単●グラウンドシートはサイドアップ型/素材は耐水圧が10,000mmを超えるP.V.C.を採用。縫目の無い溶着加工を施してあるので、雨量の多いときでも安心●充実した室内装備/室内にはロープなどを利用して小物をり下げられるループ付き/床部のコーナーには、メッシュの小物入れ付き  
■素材/フライ：ポリエステル75d (耐水圧1,500mm) ナイロン70d (耐水圧1,500mm) /内幕：ポリエステル/グラウンドシート：PVC (耐水圧10,000mm以上) /フレーム：6061及び7001アルミ合金■カラー/ブラウン×サンド×レッド■付属品/プラスチックバッグ (22cm) 6本、ピンバッグ (20cm) 20本、張網6本、金づち1本、収納袋■重量/幕体：約9.0kg、フレーム：約2.6kg



スカウトドーム本体



大自然の中で、  
快適な時を  
過ごすために...

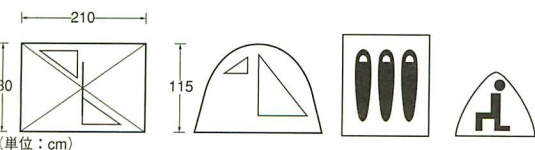


## ■ニューキャビン

-84930 ¥25,000

両面の扉はカヤ付きでファスナー開閉。メッシュ付きの換気窓が2面あり快適。吊りフックで組み立て簡単。小物を入れるポケット2つ付。

■素材：本体/ナイロンタフタリップストップ70d (撥水加工) フライ/ナイロンタフタリップストップ70d P.U.コーティング (耐水圧1,500mm) グラウンドシート/ナイロンタフタ70d P.U.コーティング (耐水圧1,500mm) フレーム/7001アルミ合金φ9.5mm■色：本体/レモンイエロー×ダークグリーン フライ/ライトグリーン■付属品：φ6mmアルミベグ (17cm) 13本、メインアルミポール (ショックコード付き) 2本、リッジポール (ショックコード付き) 1本、フライ本体の折触防止用メッシュ2枚  
■重量：3.75kg



(単位：cm)

## スカウトカレンダー2004

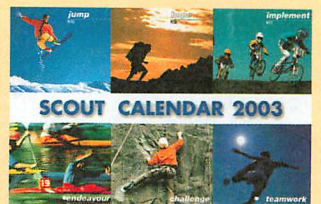
予約開始のお知らせ

年間行事シールつき

-68404 ¥600

- ★予約申込期間：8月1日より10月15日
- ★メリット期間：8月1日より9月30日 (日本連盟必着)
- ★メリット期間中に50部以上まとめてご予約いただくと、名入れ印刷いたします。
- ★50部以上の注文は10部単位でお願い致します。

※サイズが変わります。  
A4版 変型 12枚



写真は2003年版  
カレンダーです。

## 新刊本のお知らせ

A5版 96ページ

「技能章の指導と考査の手引き」改訂版

-65048 ¥500

## ■ご利用にあたってのお願い

- ご注文はBSカード専用の注文書がありますので、ご連絡いただければ送付いたします。
- 日本連盟のインターネットのホームページからダウンロードできます (<http://www.scout.or.jp/>)。
- お支払いにつきましては、ボーイスカウトカード及び代金引換 (代引) のみの取り扱いとさせていただきます。
- ファクシミリ [0422-31-5169 スカウト用品専用] でご注文をお受けいたします。
- カードは計画的にご利用ください。
- お求めは県連盟・取扱協力店、あるいはボーイスカウトカードをお持ちの方は日本連盟まで。



※当カードは、オリコ・UC・VISA取扱店や、海外のVISA取扱店でもご利用になれます。

★スカウト用品の表示価格には消費税は含まれておりません。外税として別途申し受けます。  
★スカウト用品の情報はインターネットでもご覧になれます。

# 9.15 スカウトの日

全国一斉の活動でスカウティングをアピールしよう！  
スカウトカントリー大作戦



今年はどうな活動をするのかな？

より良いスカウティングを より多くの青少年に！

**+5-0**

全スカウトの胸に友情バッジを 全団が「+5,-0」を実現しよう



財団法人

ボーイスカウト日本連盟

SCOUTING

2003/8

603

昭和33年12月15日 第3種郵便物認可  
平成15年8月1日発行 毎月1回1日発行

編集責任者 事務局長 石山伸司  
〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10  
電話 0422(31)5161(代)

郵便番号 00110-1-82610  
口座名義 (財)ボーイスカウト日本連盟

4 931187 665251